

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は何かとお世話になりました。皆様の絶大なご協力で尾根筋ハイキングコースのオープンを始め、設立10周年記念事業として記念講演会・祝賀会、里山カレンダーの発行など列挙にいとまの無い数々の実績を積み上げることが出来ました。

新年早々には京都府から生物多様性保全推進事業の申請を受理いただくなど出足好調な動きとなっています。この事業は木津川に生育する植物の徹底調査を基に、絶滅危惧種の保全対策を提言する内容でございます。村田先生や光田先生など我々が誇る顧問団の総力を結集していただいて成功させていきたいと思っております。

また、年間事業活動の一層の充実を図ることに併せて事務局体制の強化、加えて若い皆さんをお迎えできるよう工夫を図ることなど課題が山積しています。

そして内外から寄せられる期待にこたえることはもちろん、日ごろご参加いただく皆さんが喜びを感じ、楽しく面白く気軽にお越しいただける内容にしようとさらに英知を發揮していただきたいと思っております。

会員の皆様を始め、社員・理事の方々のご提案ご協力をお願いして新年のご挨拶といたします。

理事長 山本雅晃

明日・七草摘みと七草粥にご参加を

明日6日 金曜日 午前10時 田辺木津川運動公園集合
七草摘みのお話をお聞きします。講師は本会顧問の上島裕氏です。参加費 500円
お土産に真竹のおわんを差し上げます。
順番に乙女の衣装を着ていただいて記念写真を撮ります。

黒豆味噌作り 参加者募集

1月15日 日曜日 午前7時 新田辺駅出発 帰着午後8時予定
参加費 8500円 味噌10kg 詳しくは、お問合せください 0774-64-4183 まで
残り4名となりました。
味噌の注文をお受けいたします。5kg 6000円 10kg 10000円 10日まで受け付けます。
行き先 夜久野町末 掘島農園 順調に出来上がりますと夜久野温泉入浴の時間が取れます。
文化祭で大人気の製品です。一度試食された皆さんは大変気に入ってくださっています。

炭焼き体験学習参加者募集 参加費 3000円 炭お土産(4.5kg)

1回目 1月22日 日曜日 午前8時~午後2時 小雨決行 原木の切出し作業
2回目 2月19日 日曜日 午前8時~午後2時 小雨決行 炭の窯だし 着火作業
先着20名まで受付ます 防寒対策を十分に 申し込みは 0774-64-4183・FAXで

年始の予定

- 4日 仕事始め 事務局会議 七草摘み前日準備、軽自動車披露式
- 5日 パソコンクラブ 京都府生物多様性保全推進事業申請、
- 6日 七草摘み、
- 10日 自治体挨拶回り、木津川マラソン第2回実行委員会、
- 11日 事務局会議、06年度活動計画の検討
- 12日 パソコンクラブ、
- 15日 木津川マラソンリハーサル
- 16日 生物多様性保全事業第1回検討委員会
- 18日 事務局会議 06年度活動計画の検討

第10回 「自然と環境」講演会 3月4日

講師 神田浩史氏 (特定非営利活動法人 AM ネット代表理事)決定

講師プロフィール

タンザニア、ナイゼリア、バングラデシュなどで農業開発事業に従事する。

2003年3月に琵琶湖・淀川流域で開かれた第3回世界水フォーラムにおいては、NPO法人水フォーラム市民ネットワーク事務局長を務めたほか、第3回世界水フォーラム事務局でも事務局次長を務めた。

七草摘みと七草粥 新年初事業 40名の参加 乙女の衣装で大盛況



当日は枚方の地方 TV と京都新聞から取材がありました。多くの皆さんが作られた乙女と若者の衣装をかわるがわるに着て写真に納まりました。アツアツで塩味のおいしい七草粥をいただきました。遠く名張市からの参加もありました。

黒豆味噌作り 16人分 11人の参加申し込みがありました

文化祭で再度購入にこられた辻さんはあいにく完売していたので、新年早々に味噌づくりにお誘いいたしました。「それならぜひとも参加したい」とご一緒されることになりました。今回から豆の皮をむいていくことになりました。

9日に黒豆を受け取りに行きました。京都南部は素晴らしい晴天でしたが、夜久野は雪が20cmほど積もっていました。天気予報では15日は雨天とのことですが、寒波が襲来してくるようだと思います。

炭焼き体験学習参加者募集

参加費 3000円 炭お土産(4.5kg)

- 1回目 1月22日 日曜日 午前8時~午後2時 小雨決行 原木の切出し作業
 - 2回目 2月19日 日曜日 午前8時~午後2時 小雨決行 炭の窯だし 着火作業
- 先着20名まで受付ます 防寒対策を十分に 申し込みは0774-64-4183・FAXで

第10回 「自然と環境」講演会 3月4日

講師 神田浩史 氏 (特定非営利活動法人 AMネット代表理事) 決定

本年第2回事務局会議から 新年度活動計画について検討した中間意見
強化する活動 柿の芽摘み 夏休みの宿題の手伝い。
追加する活動 木津川の水遊び 木津川の自然教室。
削減する活動 夏の自然教室 春の野草を食する会 里山料理教室。
こうした意見が出ています。皆さんのリクエストをお待ちしています。

生物多様性保全推進事業 第1回推進委員会 1月16日 10時より 本会事務所で開催

新年のあいさつ回りに行ってきました。4日に披露した里山の会軽自動車「善治号」で木津川出張所、淀川河川事務所、京都府庁・農林水産部、企画環境部(企画総務課・自然環境保全室)、山城北保健所、山城広域振興局、山城北農業改良普及センター、山城土地改良事務所を訪ねました。

第23回京都木津川マラソン大会、第2回実行委員会が開かれる(10日)、エントリー総数4317人で、1都1道2府31県と韓国ソウルからも申し込みがありました。里山の会では手原川エイドステーション、うどん係り、場内暖房、コース管理、選手運輸などのボランティアを担当します。ボランティア総数は650人とのことです。

22日は炭焼き体験学習 初日**作業応援 お願いします**

午前8時~午後2時

今年度は一般参加0人**里山の会理事総出で作業を行ないます****皆様のご参加とご協力をお待ちしております。****二日間ご参加の方に 炭お土産(4.5kg)****1月22日 日曜日 原木の切出し作業****2月19日 日曜日 炭の窯だし 着火作業****黒豆味噌作り 好天に恵まれ3時で作業完了 周囲は雪原風景**

初参加者が2名おこしになりました。午前7時近鉄新田辺駅を出発。夜久野末広ライスセンター到着9時40分、直ちに煮方、皮剥き方、練り方などに分かれて準備を開始。まもなく鹿撃ちの猟師さんたちが到着し狩猟準備を始められました。互いに顔見知りとなって挨拶を交わし、煮立ってきた豆の加減を見ます。昼食もそこそこに麴と塩とミンチを通った豆の練りこみを続けました。16人分の味噌が出来上がり、後片付けのあと、応援やご指導をいただいた皆さんにお礼を言って、夜久野温泉で疲れを癒しました。帰路では途中で軽食を取り午後8時には各人帰宅できました。翌日両丹日日新聞の一面トップに私たちの記事が載ったとのことでした。

**第10回 「自然と環境」講演会 3月4日(土)
講師 神田浩史氏 (特定非営利活動法人 AMネット代表理事) 決定****本年第3回事務局会議から 1月18日(水)**

植物多様性保全事業に係わって植物調査の応援をしようと思っているのだが「植物を見分ける専門的な技術を必要とするのかどうかという不安をもっている」ことについては、現場に足を運ぶ回数を多く、経験を重ねるようにしよう。また、先生のご都合によって勉強会の開催も行おうということになりました。

生物多様性保全推進事業 第1回推進委員会 1月16日 10時より 本会事務所で開催

出席者は光田先生や上島顧問など11名でした。山本理事長から今回申請した事業の意義を一致、協力し、成功させたいと挨拶がありました。その後太田史さんの資料や経過説明のあと、フリーの発言に移り資料の整理と収集、現地調査方法、データ-整理のパソコン化、などについて意見交換が行われました。また、京都府の内示に係わらず現地調査の実施や準備を進めることも確認しました。

第23回京都木津川マラソン大会 里山の会から32名のボランティア登録

昨年は20名を登録しました。受け持った部署ではそれぞれ終日交代もままならないほど大忙しでしたので、今年は補強をすることになり呼びかけましたところ32名の方が協力していただける事になりました。参加して下さる皆さんご苦労様です。

パソコンクラブより一言

年末突然パソコンの画面が消えました。いろいろ試してみましたが最後の手段として、コンセント、マウス等すべてのコードを外して電源を5秒押しました。明るい画面が出てきました。初めて経験しました。

パソコン初心者 M

炭焼き体験作業 原木の切出し作業

2系分伐採 13人の参加

この日は長く続いた真冬日だということでしたが、早朝から雲ひとつない温かい日差しが見られる天気でした。午前8時に窯場に集まった皆さんは、分散して切出し予定地に移動、高船に通じる府道が急な坂道を30m登りきったところにある田圃の周りの急峻な斜面に40年以上になるクヌギやナラカシ・根元直径60cm高さ20~25mの大木を12~3本伐採しました。この木の倒れる迫力は風を切る音とともにズドンという地響きもすごいものです。小枝を整理し、寸法に切断して重い原木を積み上げます。皆さん精一杯力仕事を楽しみました。通常日常生活ではこれだけの重労働にであうチャンスは滅多にありません。汗を流したあとの一息ついた時いただいたヨモギの入った草もちの美味しかったこと、また昼食の豚汁も本当に美味しかった、何倍もお代わりされていました。

みんなで精一杯作業をしましたが、振り返ってみるとほんのチョップリの広さしか整理されていませんでした。山や森を大切にという掛け声は響きがいいのですが、実際に体験してみますと人力とはちっぽけなもので、山仕事の厳しさを改めて認識しました。ぜひ多くの方々のご参加が必要だと思いました。

生物多様性保全事業の打合せ会議から

木津川の植物の生育調査の実施日が決まる

2月20日 27日。3月6日 13日

月曜日 午前10時 現地集合

集合場所は事務所までお問合せください

2月14日 植物名を明示する立て札の製作を2月14日午後1時から里山の会事務所で600本を目標に作業します。皆さんご参加ください。

事務局会議から

会誌20号の特別企画 原稿募集のテーマ決まる。「里山の会と私」1000文字以内ふるって応募ください。里山の会事務所へ郵送、FAX、メールでお届けください。

炭焼き体験学習 一般参加者が0(ゼロ)について意見が集中

里山の森や林の手入れの重要さは理解する。これまでではどうやってきた。このままでは我々のみでは息切れする。どうして応援部隊を得るか議論百出。

環境学習会

2月21日 中央公民館 午前10時より
今年の冬は近年にない寒さですね。地球温暖化が進んでいるといわれますが、特別なのでしょうか。私たちの調査や観察活動を通じても着実に熱帯地方の植物が進出しているように見られます。また温帯地方の昆虫が見られなくなっているように感じます。小さな弱い生き物は敏感に反応しているのではないのでしょうか。「自分たちの生活の中でどんな温暖化対策が出来るかを知る」として学習会を開催されます。皆さんのご参加をお願いします。内容

「家庭の省エネクイズとその解説」ひでのやエコライフ研究所所長 鈴木靖文

「地球温暖化についてのやさしい基礎」

京都府地球温暖化防止活動推進センター 木原浩貴

主催 京田辺市地球温暖化防止活動推進委員会

琵琶湖・淀川水質保全機構主催
活動交流会で山本理事長 活動発表

2月4日 午後1時より ミヤコメッセ

尾根筋ハイキング

高船集落内藤ノ井さんの力作

コース看板出来上がる

**第10回「自然と環境」講演会会場
京田辺市立中央公民館に決定**

2月の予定

- 2月1日 事務局会議(毎週水曜日)
- 2月2日 パソコンクラブ(毎週木曜日)
- 2月3日 京都木津川マラソン大会前々日準備
- 2月4日 マラソン前日準備
琵琶湖・淀川水質保全機構・活動交流会ミヤコメッセ
- 2月5日 第23回京都木津川マラソン大会
里山の会応援 手原川エイド
- 2月10日 NPO 会計処理学習会 山本・黒光
- 2月11日 お水取り 松明用 竹送り 普賢
寺大御堂集合 8時30分 東大寺二月堂へ出発
- 2月14日 第2回生物多様性推進委員会
- 2月18日 京都南部 NPO フォーラム
- 2月19日 炭焼き体験学習 窯だし 着火
製品の商品化(箱詰め作業)
- 2月20日 木津川植物観察調査会午前10時
- 2月21日 京田辺環境学習会 午前10時
中央公民館
- 2月27日 木津川植物観察調査会午前10時

木津川出張所より「河川レンジャー」の説明
近年川や水から遠のいた暮らしになっているとき、川や水環境に関して河川管理者と住民との中間に位置し、河川環境の保全、文化歴史の普及、災害防止活動などの取組を進める人材を求めているとのことが要望されました。

2月第一回事務局会議から

生物多様性保全事業や、植物観察や受託事業など、通常活動においてますますデジカメの役割が大きくなってきているが、個人の機材に頼っているのが現状です。この際デジカメの購入の提案があって、機種と値段を検討した結果購入を決定しました。

府民水辺ネット事業の報告書第1次案出来る昨年魚とり、竹炭焼き定見学習、浄水施設見学と木津川のお話の3点セットの取組をしました。新聞にも大きく取り上げられました。この報告書の第1次案が出来上がり10日提出。

会誌 19号製作を振り返って、最終校正の時間がとれず寄稿者の多大のご迷惑をおかけした。再度のミスを防止に**締切日の厳守**を確認する

第10回「自然と環境」講演会 3月4日

府地球温暖化防止活動委員主催

環境学習会 2月21日

2月5日の第23回京都木津川マラソン大会

ボランティア募集

里山の会ではエイドステーションを手原川で行います。1時間でもお手伝いに来てくれませんか。一生懸命に走るランナーからすばらしい元気がいただけます。一度ご参加ください。感動されること請け合いです。現在30人の皆さんが応援するとご返事いただいています。加藤建設社長さんが防寒対策として建設現場から木っ端を山のように運び込んでくれます。寒さ対策は万全ですので、心配なくお越しください。お待ちしております。

琵琶湖・淀川流域交流会検討会から(31日)第5回検討が大阪証券ビルで開催され、設立趣意書規約活動計画について検討された。それぞれ活躍中で、現職ボランティアから真剣な発言が続きました。次回に最終確認となりました。流域と流域圏についての定義が質問され、圏とは水が利用されている範囲を示すもので、流域とは雨が集まってくる範囲を示すものとして位置づけているとの回答から名称に琵琶湖・淀川流域圏連携交流会と決定しました。また会費は個人加入を主体に年会費2000円が合意されました。部会の位置づけは課題を残しているように感じました。(出席 山村常務理事)

第10回「自然と環境」講演会 3月4日**府地球温暖化防止活動委員主催 環境学習会 2月21日**

2月5日の第23回京都木津川マラソン大会

里山の会から31名が応援

全国から3600人のランナーが寒風の中フルマラソン・ハーフ、5km,3kmを走りぬきました。里山の会から31名のボランティアが選手を応援をしました。この日の朝は厳しい寒さで手洗いの蛇口や水道管が凍りつき、早朝からてんやわんやの大騒ぎでした。去年の経験を生かして周到に対策を行ってきましたが、それを上回る厳しい寒さでした。

里山の会では、本部会場の暖房係りを担当して、炭や木っ端を使ってランナーを歓迎しました。うどんコーナー・飴湯コーナーでもお手伝いをしてゴールしてきたランナーを手厚くもてなしました。また、**ランナーの送迎**を受け持ちタクシーの手配にも万全を期して、疲れた足で帰る方にサービスを提供しました。エイドではすごい北風が吹き込み大変でしたが、焚き火を盛り上げ、防風テントを張ってしのぎました。**最終ランナーのゴール**は午後7時でした。その後コースの後始末を行い帰宅は午後8時を過ぎていました。

2月4日に行われた「琵琶湖・淀川流域ネットワーク交流会 2006」に活動紹介の発表とポスター展示で参加しました。50団体ほどの参加がありました。里山の会からは理事長の山本雅晃さんと理事の黒光さんが出席しました。前日のパソコンクラブの大奮闘で活動紹介のポスターが製作され、それを張り出しました。簡潔にまとめられ解りやすいものになっていました。口頭発表では大部分が専門分野の団体で、里山の会のように広範囲の取組を総合的に年齢も小学生から高齢者までを対象にしている団体は少ないようでした

自由討議では連携交流会の紹介について屋上屋になるのではないかと、国交省の下請け団体ではないかといった厳しい批判意見が出されていました。

2月度 第2回事務局会議から

京都府生物多様性保全推進事業の**補助金交付決定**が2月6日にありました。

補助内容は生育調査費、記録整理費、会議費。報告書まとめ費など合計2分の1補助で42万円です。3年間事業で第1年度は3月末で、短期間の作業期間です。**植物の現地調査**は2月20日、27日、3月6日、13日の4回を予定しています。講師は上島裕顧問の予定です。時間と集合場所は決まり次第週間ニュースでお知らせします。

第2回推進会議 2月14日午前10時より里山の会事務所で開きます。午後には加茂町の西沢さんとの打合せのうえ現地調査を予定。同時に植物名札を作ります。ご予約よろしくお願います。

05年度活動報告素案をもとに振り返りました。

設立10周年にふさわしい取組であった。行政との協働もうまく進みはじめた。事業参加者は初めて1000人を突破する見通しである。しかし会員の活動参加状況はどうか、新年度では会員の活動参加促進対策を検討すべきとの意見や不参加者の気持ちを押し量ることは無理ではないのかといった意見がありました。

地球温暖化防止活動推進委員会主催の**環境学習会**のチラシとポスターを手分けして張り出し、個別配布を分担しました。今年の冬の寒さは久しぶりとのこと、世界の異常気象現象は各地で発生しています。基礎知識を学びましょう。

19 日てんこ盛りの事業

1 **炭焼き体験** 二日目 ふるってご参加を
午前8時打田炭焼き窯場集合 豚汁あり

2 **京田辺市環境パートナーシップ会議**
午後1時30分 発足総会 記念講演
社会福祉センター

3 **1階使用の皆さんと顔合わせ会**
午前10時 当会事務所

昨年9月から試験的に事務所を使ってこられました聴覚障害者団体の皆さんが事務所移転を祝う会を計画され、招待状が里山の会に届けられました。山本理事長が出席予定をしています。

京都府 NPO フォーラム

18日(土) 午後2時 城陽市文化パルク
里山の会展示発表

京都南部のNPO団体の展示発表会です。里山からは山本理事長ほか8名程度出席します。皆さんのご参加を呼びかけます。参加費無料

里山の会 05年度活動出席者 1000人突破か?

中間まとめの結果10年来はじめて大台を突破する見通しです。受託事業の取組やさかな獲り、子どもたちを中心にした取組と記念事業多くの方々のご参加いただきました。

生物多様性第2回推進会議 21人出席

村田・光田・上島先生をはじめ高木さん中岡さんなど多士済々の実力者がずらりと出席いただき熱のこもった議論になりました。里山の会のフルメンバーが勢ぞろいしました。生物多様性事業に取り組むチームの意気込みが感じられました。坂田さんは翌日に資料の編集をして、事務局会議に持参いただきました。まさに即、実行です。

連絡 本年度最終 **第3回理事会**

3月17(金)大躍進を実現した今年を締めくくります。万障繰り合わせご出席ください。

お水取り 竹送り 俳句会に入選

11日に行われた奈良東大寺二月堂で行われるお水取りの松明に使う竹を運ぶ行事が行われました。無事に運び終えた後、昼食の弁当を食べて、恒例の俳句会が行われました。今年は里山の会から出席した藤ノ井さんと・山村さんが佳作入選されました。

いくつもの肩に乗っかり竹送り 藤ノ井
竹送りあさぎり池に 鴨親子 山村

2月21日(火) 午前10時~11時まで 中央公民館

環境学習会にご出席を 無料
家庭で出来るエコ対策

多様性保全事業 現地調査会

植物調査開催 指導 上島裕顧問

20日(月) 午後1時神矢樋門集合

早春の河原にどんな芽吹きが見つかるでしょうか、楽しみですね。

新年度活動計画検討中

あなたのリクエストをお待ちしています。取り組んでほしい活動があればご連絡ください。皆さんのご意見をお待ちしています。楽しく面白くためになり健康に役立つ活動を教えてください。リバイバルも結構です。

世界遺産をたずねる会

今年の取組 乗鞍山登山を計画

7月18・19・20日

3000mの山頂 90分の道のりで頂上へ登山します。3000mの山頂 90分の道のりで頂上へ登山しますので気楽に体力に合わせて歩いてください。一般所要時間の2倍を予定しています。先着20名で予約しました。(概算5万円)

第10回自然と環境講演会 3月4日 (土)

京田辺市立中央公民館 午後1時開場
講師神田浩史氏 岐阜県不破郡垂井町からお越しいただきます。

演題は「世界の水問題と私たちの暮らし」と決まりました。ご友人や知り合いにお誘いください。参加費無料です。

2月第4回事務局会議から

新年度の新しい取組が話し合われました。

- 1 生物多様性保全事業の実施
- 2 認定 NPO 資格の獲得準備の開始
- 3 河川レンジャーとの連携

の3つが確認されました。

植物標本の乾燥箱が出来上がり、ベニヤ板とダンボールのパッキンの裁断が進みました。乾燥用の熱源は座敷コタツのヒーターを取り付けました。藤ノ井さん大村さん、森島さんの力作です。一度に30組の標本を2日間で乾燥させることが可能になりました。22日18時まで作業

大阪市自然史博物館の2006 フェスタ

3月11日 12日のスタッフが決まりました。

初日 山本、大村 黒光 中西

翌日 山村 森島 近藤 森

柿の剪定作業 募集 2月24日 金曜日
9時事務所集合又は9時30分現地集合
問合せは 事務所まで 12時終了予定

第10回自然と環境講演会

「木津川の魚と私」と題して**福井波恵さん**から発表していただきます。昨年夏の魚とりの指導と中部住民センターの水槽の魚を管理していただいている方です。神田先生とともに発表に期待が高まっています。全会員に講演会の案内チラシを郵送しました。知人や友人にご案内してください。

木津川の植物調査

2月21日 雨の中実行 6名が参加
全管理地を視察、加茂町恭仁京大橋から八幡市まで25箇所を踏破しました。

次回は2月27日 午後1時集合

神矢樋門公園 近鉄鉄橋上流150m

講師は上島裕氏です。

京都府 NPO フォーラムで展示発表する振興局の部長さんから魚とりの取組について高い評価をいただきました。ぜひ今年も実行していただきたいものだと期待の声がありました。

行政などの下請けに利用されないで、NPO から積極的な提案をしていくことが今後大切だとの発表がありました。

京田辺市で環境学習会開かれる
里山の会から10名が出席

家庭での待機電力が年間1万円程度になっている、使わないときはこまめに電源を切ることが大切だとの講演を聴いたので、早速実行したとの反響がありました。家庭の中を回ってみるとずいぶん無駄なところのあることがわかった。昨日の講演会に参加して大もうけできたと喜んでおられました。

1階に入居された聴覚障害者団体との顔合わせが行われ、山本理事長が出席しました。挨拶の後里山の会はどのような活動をしているのかなどの質問が寄せられ、参加したいといった声がありました。早速行事案内を届けることにしました。

第10回
自然と環境講演会
3月4日 土曜日
午後1時開場
京田辺市中央公民館

会誌20号の原稿募集

記念する20号発行を迎えました。特別企画として「里山の会と私」として原稿募集を行っています。役立ったこと、面白かったこと、今後に期待すること、苦情などもお寄せください。文字数は1000文字以内で、締め切りは3月10日としています。事務所までお届けください FAXでも可能です。メール歓迎

3月4日 土曜日 午後1時開場

第10回自然と環境講演会

京田辺市中央公民館

多数のご来場をお待ちしています。今話題の水問題を中心にお話します。

発表 **「木津川の魚と私」** **福井波恵さん**
 講演 **「世界の水問題と私たちの暮らし」** **神田浩史 氏**
 ふるってご参加ください

2月27日 生物多様性 **植物調査実施**

上島裕顧問を先頭に10名が参加
 3×4mの面積にスイバが74本も芽を出して
 いました。他にムラサキツメクサやカタバミ、
 カラスノエンドウ、ヨモギなど沢山の植物を発
 見しました。
 標本用の採取も行い、標本化の作業も実習しま
 した。
 次回は3月6日(月) 午後1時神矢樋門に集合

3月の予定

- 1日 事務局会議
- 2日 パソコン教室(毎週木曜日10時)
- 4日 **第10回自然と環境講演会**
- 6日 木津川植物調査 神矢樋門集合
- 8日 事務局会議(毎週水曜日9時30分)
- 9日 パソコン教室
- 10日 木津川植生保全管理作業報告書提出
- 13日 木津川植物調査 神矢樋門集合
- 14日 第3回植物多様性推進委員会
- 17日 **第3回理事会** 通常総会議案決定
- 20日 みどりの体験学習事業報告書提出
- 22日 植物多様性事業報告書提出

約1年半連続開催 パソコン講習会

参加者の腕が上がる

2月に入って、発表会が計画され、展示用のポ
 スターをそれぞれが受け持ち制作しました。
 A3の用紙4枚に拡大して素晴らしいポスター
 ができるようになりました。
 初心者の方も一度おいでください。親切に教え
 ていただきます。無料です。

3月第1回事務局会議から

05年度活動報告案、決算案出来上がる。06年
 度活動方針と予算案の骨格が決まり17日の第
 3回理事会で総会への提案が決定します。
 活動日程もほぼ昨年並みで原案出来上がる。

尾根筋ハイキング・コース整備

高船村落内の看板出来上がりました。
 藤ノ井さんの力作が追加され、どなたもわかり
 やすい看板になりました。
 太田尾の危険防止柵の破損箇所の修復が完成
 しました。大村さんと森島さんが2月28日に
 杭とロープを使って安全対策をしていただき
 ました。ご苦労様でした。

4月9日 日曜日 午前10時

集合 新田辺駅西口

春の野草を味わう会を開きます

こぞってお越しください 参加費500円
 申し込み不要 当日受け付けます。

植物標本のための**乾燥機 試験運転**実施

27日採取した植物を標本にするために、テス
 トをしてみました。約8時間で試したところず
 いぶんうまく乾燥することができています。太
 い根っこの部分を残して出来映え抜群です。

柿の剪定作業進む

24日に二人の方によって柿の木の選定作業
 が行われ、2時間程度で8本の柿木を美しくし
 ました。今年の実のなる木は本当に少なく、は
 っきりと不作が予想されます。
 次回は3月中の早い時期に行います。

3月4日 第10回自然と環境講演会 53人のご参加で大成功、用意した椅子も資料も不足してあわてて追加しなければならないほどの、大入り満員でした。

発表していただいた福井波恵さんの「**木津川の魚と私**」では、身近な木津川にこんなに沢山の魚が生活しているのかと改めて認識した。女性の発表も楽しく新鮮なお話で大変良かったとの評判でした。また神田浩史さんの「**世界の水問題と暮らし**」では、地球規模のお話で、自らが出かけて現地で体感した内容でしたので、大変新鮮に聞くことが出来ました。事務局会議では、神田先生のお話がもう一度聞きたいので出かけていくよとの感想も出るくらいファンが生まれました。要旨は里山の会誌 20号に掲載いたします。

3月6日 生物多様性 植物調査実施

上島裕顧問を先頭に9名が参加、激しい雨の中2時間真剣に調査を行いました。初めての方もなれない手つきで植物採取を行いました。数調べではスイバ139、オオマツヨイグサ135、ハタザオ128、カワラナデシコ41、コマツヨイグサ17、セイタカアワダチソウ172本でした。標本にした植物は22体でした。雨の中ご奮闘ご苦労様でした。来週も13日(月)午後1時神矢樋門に集合して調査を行います。

植物標本の乾燥機威力を発揮

藤ノ井さんや森島さん、大村さんが苦心して製作していただいた乾燥機はおおよそ2日間できれいに植物の水分が取り除かれ、その上緑色がそのまま残って、これまでの自然乾燥方式のものとはずいぶん違った見事な標本に仕上がっていました。

次にこの標本の収納庫が必要になってきました。早速森島さんや大村さんにベニヤ板で製作していただくことになり、取り掛かってもらいました。湿気や防虫、カビ対策が必要ですのでしっかりした保存庫を確保するまでのものとして作ってもらうことになりました。

里山の会が京都水直吉記念・京都水づくり賞の受賞内定の連絡がありました。

表彰式は3月20日(月)とのことでした。

3月10・11日に大阪自然史博物館で行われる2006フェスタに出展展示します。一昨年に引き続き2回目の参加になります。約80団体の自然観察や保護、調査に係わっている人々の発表です。里山の会からは、活動紹介をポスター展示します。長居公園にある博物館です。ごらんになってください。

3月第2回事務局会議で06年度の事業方針予算案を検討しました。理事会への事務局案が出来上がりました。

まだ間に合いますので、会員の皆さんからのリクエストをお待ちしています。

06年度にも「水辺環境ネット事業」に応募することと「みどりの体験支援事業補助」を申請することも決まりました。

第3回理事会 3月17日(金) 午後7時より
場所 京田辺中央公民館
理事の皆さんご出席をお願いします。

生物多様性事業 第3回推進委員会
3月14日 火曜日 午後1時から
場所 里山の会事務所
ご出席をお願いします。

会計からの連絡

06年度の会費の納入をお願いします。
郵便振替番号

00950-7-46840

大阪市立自然史博物館

2006 フェス 出展展示

3月11・12日と二日間の出展に参加し、多くの皆さんと交流を深めることが出来ました。今回は出展よりも、他団体の活躍されている姿を学ぶことが出来ました。参加団体の悩みはどのようにして1人でも多くの参加者を迎えるようにするのが共通していました。また、参加者の年齢層が高齢者の皆さん方で、若者の姿が貴重でした。ご近所の子ども連れの方が、沢山おいでなっていました。参加団体の特徴は専門的集団で、総合的な活躍内容を持っておられるところは稀のようです。私たちやましろ里山の会は、専門性(植物関係)に強みを持ちながら、幅広い活動を展開しているところは見かけませんでした。中でも会誌の発行や木津川花ごよみの発刊は追従を許さないものでした。二日間にわたってご協力いただいた皆さんは、相当に識見を深めることが出来ました。ご苦労様でした。

第3回植物多様性推進委員会 16名の参加で調査方法や範囲について、熱心に論議を展開

3月13日 これまでの雨や雪、強風という困難な条件の中で得た教訓を引き出して、今後について意見や感想が出されました。皆さん本当に熱心に、意見交換を進めました。乾燥器の威力が如実に発揮され、前年度の作業に比べて格段の作業軽減が行われています。

木津川植生調査 誰もが予想もしなかった激しい吹雪が吹き荒れる中、懸命に調査を進めました。9名も参加者があって、一生懸命に数調べ、名前調べをして、凍える手で記録をとりました。皆さんのご苦労に頭が下がります。

アマナの群生地を調査 3月14日連日の調査でした。調べてみますと2500本程度は優に超えるほどの繁茂ぶりでした。地元で熱心に保護されているおばさんに出会いました。

収納庫が完成 早速出来上がった標本を収納、何とか整理が出来るようになりました。この間材料の用意から初め試行錯誤を重ね、寒い風が吹きすさぶ屋外で森島さんと大村さんが悪戦苦闘していただきました。昨日午前中の事務局会議のあと、午後から最後の調整をして、事務所に収めてもらいました。立派な収納庫です。

年度末

委託事業、補助事業の実績報告の期日が迫る

事務局 集中作業で大汗諾々で奮闘

今年は4事業について補助金や委託を受けることが出来ました。その活動報告や決算報告書の提出が集中しています。同時に第6回通常総会議案の審議も進め会誌20号の編集作業も迫るというこれまで経験したことのない多忙さです。坂田さんのパソコンの素晴らしい腕前が発揮されて、混乱無く進めることができています。また、山本理事長も、全体に気を配りながら連日事務所につめていただいていた頭が下がります。また多忙の中力いっぱい発揮していただいているスタッフの皆さんご苦労様です。

会誌20号原稿締め切り

まだ少し余裕があります。駆け込み原稿を受け付けますので、未提出の方お待ちしています。

亀岡の浅野悟史君(本会会員)ラオスに遠征中蝶の採取に出かけているとの連絡がありました。

京田辺の沖山さんから30数年前に木津川堤に多くいた**オオウラギンヒョウモン**の標本の提供をいただきました。この蝶は絶滅危惧1類とされているもので、木津川では大変多く飛翔していた蝶です。今日ではまったく見る事が出来なくなっています。近畿大学の桜谷先生はまだスミレが沢山生育しているので復元も可能ではないかとおっしゃっています。どなたか挑戦してみませんか。

京都水宣言記念・京都水づくり賞を受賞

平成15年3月に開催された第3回世界水フォーラムにおける「京都水宣言」の趣旨を踏まえ、府内における良好な水環境の保全・創造、水に関する伝統・文化の継承、世界の水問題解決に向けた国際貢献など、水に関して優れた活動を行っている個人又は団体に対し、その功績をたたえる表彰でした。

受賞者は府下7団体と1個人で、里山の会は、『木津川流域を中心に、河川敷などでの植生調査、木炭を使用した水質保全の取組、府の実施する「府民水辺環境ネット事業」における木津川流域の水環境保全を目的とした水質調査や浄水場見学の実施などを通じて、水環境の保全・創造と水に対する府民の関心の喚起に貢献した』と3月20日に表彰されました。

これまでの取組の紹介 水に係わるもの

里山で炭焼き用の原木の切出し 巨大木を伐採し、里山機能の回復作業(10年目) 休耕田の復旧を進め水田耕作を進め米作り体験の実施

生産した木炭や竹炭を河床に埋設する水質保全活動

木津川などでの植物調査や観察活動(毎年) 木津川での魚とりと水質調査活動

生物多様性保全活動から

木津川ではじめてユキワリイチゲを発見しました。またミヤマカタバミやミヤコアオイも確認することが出来ました。またこの日までに78枚の標本が完成しました。3月中に八幡から加茂までの第1次調査を完了させようと全力発揮をしています。

第3回理事会から

第6回通常総会を4月23日(日)午後1時より京田辺市立中央公民館で開催し、事業報告案 決算報告を了承、06年度活動方針案、予算審議を行います。これらの議案を理事会で決定いたしました。

社員の皆様は万障繰り合わせご出席いただきますようお願いいたします。

春の野草を食する会の案内

4月9日 日曜日 午前10時

集合 近鉄新田辺駅西口

場所 木津川堤 田辺木津川運動公園付近

参加費 大人500円

事前申し込み不要

桜の花は満開を過ぎいよいよ野の花の季節到来です。新緑みずみずしい野草を食してみませんか。楽しいひと時を過ごしましょう。

飲み物の差し入れ歓迎です。

里山の会誌「里山の自然」創刊号から20号までと「里山の会10年のあゆみ」を収録したCD販売中です。注文受付中 価格1000円 送料別必要な方はお申し込みください。

会誌20号原稿続々集まる。事務局で原稿整理中 印刷製本にお手伝いをお願いします。

2006年度活動予定(案) 総会に提案します。

- 4月9日 春の野草を食する会
- 4月23日 第6回通常総会
- 5月3日 柿の芽摘み作業
- 5月13日 鷲峰山の自然をたずねる会
- 5月22日 田植え体験作業
- 6月3日 ホタルの夕べ
- 6月11日 木津川清掃ウォーク
- 6月17日 親子わくわく自然教室
- 6月28日 夏の昆虫観察会オオムラサキ調査
- 8月6日 ツバメのねぐら入り観察会
- 8月28日 木津川の魚獲り
- 9月2日 第9回里山講演会
- 9月9日 木津川の花をたずねる会
- 9月17・25日 稲刈り体験作業
- 11月 京田辺市民文化祭
- 11月12日 柿山に親しむ会
- 11月19日 里山ふれあいハイキング 尾根筋ハイキングコース
- 12月1日 ミカン収穫ボランティア
- 12月24日 冬の昆虫観察会
- 1月6日 春の七草摘み
- 1月20日 黒豆味噌作り
- 1月21日 炭焼き体験学習(初日)
- 2月4日 第24回木津川マラソン大会応援
- 2月11日 お水取り 竹送り
- 2月18日 炭焼き体験学習(二日目)
- 3月3日 第11回里山講演会

春の野草を食する会の案内

4月9日 日曜日 午前10時

集合 近鉄新田辺駅西口

場所 木津川堤 田辺木津川運動公園付近

参加費 大人500円

事前申し込み不要

桜の花は満開を過ぎいよいよ野の花の季節到来です。新緑みずみずしい野草を食してみませんか。楽しいひと時を過ごしましょう。

飲み物の差し入れ大歓迎です。

注文受付中

里山の会会誌「里山の自然」創刊号から19号までと「里山の会10年のあゆみ」を収録したCDを販売中です。価格1000円送料別必要な方はお申し込みください。

会誌20号印刷製本のお手伝いをお願いします。

4月19日 水曜日 午後1時より3時半まで

場所 京田辺市中央公民館

会誌20号の表紙の写真決まる

生物多様性調査の中で生育が確認された絶滅危惧種に指定されているユキワリイチゲです。私たちの活動でフナバラソウの発見以来4年ぶりの絶滅危惧種の確認となります。これまで木津川で見かけることが出来なかった素晴らしい薄紫の美しい花です。カラーでお届けできたらいいなあと思っています。

なにぶん一冊40円の経費アップになりますので困っています。頭が痛いです。

第6回通常総会

4月23日 日曜日 午前10時より

京田辺市立中央公民館

社員の皆様のご出席お願いいたします。

なお欠席の場合は委任状を提出ください。

議題 05年度活動報告と決算報告の承認

06年度活動方針と予算案の決定

堆肥の運び出し作業応援下さい

作業内容 軽トラックへの積込作業

4月10日～15日(月～金)9時30分～2時間

集合 事務所前9時30分出発

3月29日 堆肥の運び出しを行う。

6人で150袋(20リッター)2時間の作業でした。定例の事務局会議の後、運び出しを急遽行いました。黒光 大村 森島 中西 北波 近藤

1 生物多様性保全事業・2 緑の体験補助事業の活動実績報告書の提出に伴う現場監査も無事終了し、指摘された訂正箇所の修正を行い、活動実績報告書を受理いただきました。1 958000円、2 844000円という補助事業が立派に完了出来ました。多くの皆様のご協力に心より感謝いたします。本当に有難うございました。こうした中で1つの指標として05年度活動参加者数が1065人となり1000人の大台を突破出来ました。また、設立10周年の記念を祝福する数々の成果を収めることも出来ました。新年度にも引き続き二つの補助事業の申請を予定しております。ご協力をお願いします。

05年度概算決算

繰越金 120万円弱の見通し

10周年記念事業の数々の取組、府水宣言記念の表彰、木津川の植生調査の実施、など一挙に幅広く取組が行われ、これまで長年経費を個人負担に頼った運営の改善などを進めましたが、これまで以上に多くの繰越金を生み出すことが出来ました。

新年度には協働事業の分担金が多くなると予想されますので明るい見通しとなりました。また、認定NPO資格獲得に必要な「2年間連続した20%以上の寄付金による活動」という条件の初年度をクリアすることも出来ました。新年度にも引き続き本会事業へのご理解をいっそう得られるよう努力し、寄付金による運営を進め、京都府下第1号の認定NPO資格獲得を目指して行きたいと決意をしています。

春の野草を食する会

続々問合せの電話が事務所に
当日は好天との天気予報
皆さんお誘いあわせでお越しく下さい
前日準備にもご参加を手原川河口 午後1時

4月9日 日曜日

集合 午前10時 近鉄新田辺駅 西口

参加費 500円 終了予定 正午前

05年度本会運営に係わってくれた人数

1655人 昨年比較 450人増加

06年3月には最高の190人が協力

05年度35回の活動(催し物)参加人数

1065人 昨年比較 378人増加(29回)

(初めて1000人突破)

4月の予定

- 9日 春の野草を食する会
- 11日 5年度会計監査 多用性現地調査
- 12日 事務局会議
- 14日 高遠城コヒガンザクラ見物(有志)
- 17日 会誌20号印刷
- 18日 会誌20号印刷
- 19日 事務局会議 会誌20号製本作業
- 20日 木津川植生管理地草刈作業
- 21日 田圃・ハイクコース 草刈作業
- 22日 柿山草刈作業
- 23日 第6回通常総会 第1回理事会
- 25日 第1回多用性推進委員会
- 26日 事務局会議

5月の予定

- 3日 柿山の芽摘み作業 鹿背山
- 10日 田圃の畦草刈り 打田
- 12日 木津川植生管理地 ツル草除去
- 13日 鷲峰山の自然を訪ねる会
- 14・21日 田植え作業

草刈のご協力を

木津川植生管理地草刈を行います。

大勢のご協力をおねがいします。

4月20日 午前9時 事務所集合 12時解散

3月27日 せせらぎ館長に申し入れ

「木津川の魚の水槽常設展示の申し入れ」

昨年8月末に行った木津川の魚獲りが好評でした。そこで木津川に一番近い公共施設が京田辺市の中部住民センターで名称も「せせらぎ」ということでしたので、獲れた魚の展示をお願いいたしました。来館の皆さん、特に子どもたちからも人気があり、新聞にも載せていただき広くお知らせできました。

今まで館長さんのご配慮で設置が可能でしたが、人事異動に伴って撤去の連絡がありましたので、文書で申し入れを行いました。

4月第1回の事務局会議から

新年度からの改善方向を確認

- 1 各活動ごとに活動集約を行う。
会計処理 事業まとめなど
- 2 会計実務現金出納簿の記帳をパソコン活用に改め、会計負担を軽減する
- 3 今後の本会活動のアイデア募集
里山再生プラン 100、木津川再生プラン 100をまとめる 提案を求める
- 4 堆肥販売の開始 10日から 1袋150円 10袋以上の注文には配達します。
- 5 京都府の活動助成への申請
地域の自然と文化に学ぶ緑の体験活動補助には総額200万円の企画として応募する
生物多様性保全推進事業には総額250万円の企画として応募する
- 6 年間作業計画の概略を確認

生物多用性事業から

- 11日 午後1時から 八幡市背割り堤公園入り口集合 三川合流地点の植物調査を行います。ご参加ください。

本会顧問の古川章さん所有の農地を借用している置き場に農業用倉庫が建設されることになりました。一部借用することが合意できました。野積状態が一挙に解消することが出来る思われます、古川さんのご好意に感謝感謝です。

春の野草を食する会

絶好の日和で36人の参加で大盛況

ヨメナ、セリ、ヨモギ、ノイバラ、ナズナ、ノビル、ユキノシタ、ツクシ、ノアザミ、ノヂシャ、などを天麩羅に、またヤブカンゾウとカニかまぼこのからし酢味噌和え、ノビルのゴマ味噌和え、わけぎとホタルイカのぬたを料理しました。

野外で大根おろしでいただく天麩羅は格別でした。また、大勢の人と一緒に同じものをいただくのも話題が共通してわいわいがやがや、楽しいものです。

特別に用意した好みの野草を入れた天麩羅うどんに人気がありました。参加費500円でこれだけのことが出来るのですかとの質問もありました。

前日に草摘み出かけてくれた人、椅子や机を作り、天つゆの椀をハチクで作ってくれた人、家庭菜園からネギやシイタケなどを持ってきてくれた人、沢山の善意が山盛りになった集いでした。

野菜の遠い先祖は野草だとした解説書を届けていただいた人、当日インスタントで野草の食べ方と採取注意などをお話いただいた方、沢山の人が係わってくれました。乙訓郡からホームページを見て参加された方、天気がよいので参加したよ、といった人。楽しいひと時を過ごしました。

第2部(12時45分～)では持ち込んだ飲み物を分け分けして気分も、雰囲気も一段と暖かくなりました。野草を食するのはこの次で第2部を楽しみに参加しておられる皆さんも沢山おいででした。いかがでしたかこの日の評価は、満足されたでしょうか。

生物多様性 現地調査のお知らせ

4月17日 午後1時事務所集合です

11日の八幡背割り堤での調査は強い雨と風のために中止しました。

会誌20号の第1次校正完了

印刷作業 17・18日 午前9時から

午後5時まで続けますので、都合のよい時間帯にご参加ください。

会誌20号

製本作業に参加ください

午後1時より3時30分 途中休憩あり

320冊を製本します。

京田辺中央公民館

これからの里山の会の活動にご提案を募集

里山再生100プラン

木津川再生100プラン

こんな夢がいいなあ！こんなことができればおもしろいなあ！といったご意見提案を求めています。今すぐ実現できなくてもご提案を目指して取組を始めましょう。あなたの応募をお待ちしています。

柿の蕾摘み作業 参加者募集

5月3日 午前9時30分 現地集合

草刈作業の開始

- 1 柿畑 鹿背山 22日午前中
- 2 打田の田圃 畦道 21日 午後
- 3 ハイキングコース 21日 午前
- 4 木津川管理地 20日 午前9時

第6回通常総会

4月23日 日曜日 午前10時より

京田辺市立中央公民館

堆肥の販売を始めました

必要な方は事務所にご連絡ください

一袋150円 10袋以上は配達します

植物100%の製品です。

2006年度会費の納入をお願いします

新年度の活動が始まりました。

年間2000円のご納入をお願いします。

郵便振込口座 00950-7-46840

会誌20号(特別企画) 製本作業2時間30分で 完了

会誌づくりで最も大量の人手が必要な作業が、印刷と製本作業です。週間ニュースでもご協力を重ねてお願いしてまいりました。

印刷は、3台の輪転機を使います。午前9時にスイッチを入れて午後3時には全ページの印刷が完了しました。2日間を予定していましたが、皆さんの技術力の大幅アップで、印刷機の休み時間のないフル稼働で作業が進んだ結果です。スピードアップが可能になったのは、印刷機での微調整の必要ない完全原稿に仕上がっていたからです。何事も段取り八分とはよく言ったものです。パソコンの威力発揮と人手による経験力のミックスが遺憾なく発揮された連携があったからです。原稿仕上げに時間をさいてくださった皆さんに感謝します。

製本本番にも大勢の皆さん(17人)が駆けつけてくださって、予定通りの時間に出来上がりました。今回は160ページと普段よりも20ページも増加しているものですから、作業量が増えました。それでも前回と同時間で出来上がりました。素晴らしいチームワークがあったからです。ご協力いただいた皆様本当に有難うございました。

会誌作りは総合力発揮の場

私は20号のホッチキス役を担当しましたが、一枚一枚のページに執筆者の思い、パソコン化した人、全体の体裁を整えた人、何度も何度も校正や編集をした人、などなど本当に多くの人の様々な協力「会誌」や「里山の会」に対する思いが凝縮した結晶だとつくづく感じました。

開始作り作業は、こうした思いが積み重なって出来上がっている素晴らしい成果品だと思います。それらが繰り返し積み上げられて10年間の連続発行、20号になりました。今後も偉大な作業・「会誌発行」が継続することが出来るなら、里山の会の将来は明るいものと確信します。

苦労した分だけ喜びが大きくなり、仲間の輪をさらに大きくする力になるからです。

柿山の草刈終了しました。

柿山の草は早くも60cmにもなっていました。このままにしておけば大変な状況が予想されますので、予定を早めて急遽二日間をかけて第1回の草刈を行いました。

90号でお知らせしました草刈作業は予定通り進めます。天候によって左右されますので22日も予定しております、ご協力よろしく。

第6回通常総会

4月23日 日曜日 午前10時より

社員の皆さんは必ずご出席ください

第1回理事会 4月23日 午前11時15分

第6回通常総会議事終了後暫時休憩の間に開催いたします。万障繰り合わせご出席ください。

生物多様性現地調査のお知らせ

4月21日 午後1時 事務所出発

調査場所は事務所まで問合せください

これからの里山の会の活動にご提案を募集

里山再生 100プラン

木津川再生 100プラン

こんな夢がいいなあ / こんなことができればおもしろいなあ / といったご意見提案を求めています。今すぐ実現できなくてもご提案を目指して取組を始めましょう。あなたの応募をお待ちしています。

柿の醬摘み作業 参加者募集

5月3日 午前9時30分 現地集合

堆肥の販売を始めました

必要な方は事務所にご連絡ください

一袋 150円 10袋以上は配達します

植物 100%の製品です。

2006年度会費の納入をお願いします

新年度の活動が始まりました。

年間 2000円のご納入をお願いします。

郵便振込口座 00950-7-46840

今号から fax をご利用されていると思われる会員の方々に週間ニュースを配信いたしました。突然でしたのでご迷惑になっているのではないかと思います。今後不必要だとおっしゃる方は、その旨を fax でお知らせください。次号よりストップいたします。

なお、週間ニュースをお読みになったの感想や改善点及び、記事などがございましたらお送りください。お待ちしております。

第6回通常総会

06年度事業方針予算が決まる。

財政確立では参加費の増加対策として各活動の指導者に専門家などの協力を得て内容の充実を図る。**会員増加**のためにポスターやチラシの配布を徹底する、マスコミに対して定期的な事業内容の説明の機会を設ける。河川レンジャーとともに協働事業を推進する。**認定NPO資格を得る**ために特段の努力を図る。活動推進では、現状維持にとどまっている**体験学習を上向き活動**にするために呼びかけを十分に行う。**芦生原生林観察会**を取り組む。**事務局体制の強化**を図ること。**生物多様性保全事業を推進**すること。琵琶湖・淀川流域圏交流会や環境パートナーシップに参加し積極的な役割を果たすこと。情報発信の充実のために**週間ニュースの改善、ホームページ内容の改善**、会誌21号発刊に向けた取材活動を含む内容の改善などについて決定した。**予算案では規模が344万**となり、事業負担金として210万を生物多様性や自然と文化補助事業費に計上した。**質問では委託事業・補助事業などは別枠予算にすべきではない**かまた会員増加やPRについては身近なところで小さな取組を無理なく出来るよう工夫してはといった声が寄せられた。

熱心な討議の後、原案通りすべてが決定され、新年度のスタートが切られました。また、この日にあわせて会誌20号が発刊され配布されました。

柿の蕾摘み作業 参加者募集

5月3日(水)午前9時30分~12時まで
木津総合庁舎 前駐車場

2006年度会費の納入依頼

未納者の皆様のご協力をお願いします。

2000円 郵便振替講座 00950-7-46840

尾根筋ハイキングの案内がホームページに載りました。

ぜひご覧ください。

尾根筋ハイキング 参加者募集

5月7日 日曜日

近鉄三山木駅 近鉄バス乗車9時37分

集合 午前10時 普賢寺小学校前

ガイド 太田史 本会会員

4月度草刈作業できる

木津川植生管理地 5箇所 柿畑の草刈は大村氏など多数の方々の協力で4月分は完了しました。

この中でイヌナズナの群生地が新たに見つかり265本も生育しているのが判りました。

秋の文化祭など子ども向け事業の準備で
ヨシの刈り取りを行います。

5月1日 午前9時30分 事務所出発
お手伝いを求めています。

鷲峰山の自然を訪ねる会

5月13日 土曜日

集合午前10時 宇治田原町南 一の宮神社前
世界の標準植物としてのミヤコミズとの出会いが楽しみです。近隣ではなかなか標準植物には出会えません。このチャンスにぜひお越しください。

生物多用性事業 現地調査員募集

3月には120の植物標本が出来上がりました。4月度は現在のところ80種の標本が出来上がっています。標本は684を目指しています。どなたでも標本製作に係わってみませんか。特別な能力が必要ではありません。簡単に参加できます。お待ちしております。

興味のある方は事務所まで電話くださいね。お待ちしております。

パソコンクラブ100回連続ホームページ更新真近!!

白木、徳田、坂田、伊藤さんご苦労さまです。

毎週毎週連続して更新を続けていただいています。チームワークよく助け合いながらいただいています。

柿の摘蕾作業

21人の参加で完全に摘蕾が出来る草刈も3名で完全に刈り取れました。好天に恵まれて作業が進みました。剪定も残っていたところの整理が進みました。木津振興局に集まって柿畑まで田圃道を20分ほどあるきます。早いところでは田植えの準備が行われ、畦の草も刈り取る農家の人も沢山作業をされていました。皆さんやる気満々で集まっておられます。山本理事長の挨拶の後、指導をしていただく佐藤誠さんから柿の摘蕾作業にあたってのお話をいただきました。柿の原産地は東アジアで奈良時代に中国から渡来してきた。江戸時代には200種以上の品種が栽培されたこと。鹿背山では大正年間に岐阜県から枝をもらって産地化されたこと。栄養的にはビタミンCが豊富に含まれ、主力品種には雄花がない、交配用を混植化されていることなどの説明がありました。



秋の文化祭の準備始まる

子どもたちにヨシですだれを編んでもらうためにヨシの刈り取りに行ってきました。5月1日 朝から大村さんや森島さんたち4名で背割り堤公園に出かけました。公園管理をされている方のご理解をいただいてヨシ刈をさせていただきました。高さは約4~5mにもなっています。完全に枯れていなく、刈り取ったあと乾燥させる必要があります。近くの農家に編む道具の借用依頼をして、準備が始まりました。

木津川の植物調査川筋周りに進む



ニリンソウやホウチャクソウを見つけました。標本もドンドン出来てきました。

春を満喫しませんか

5月7日京田辺の最高峰に登ろう

尾根筋ハ件^カにご参加ください

近鉄三山木駅 9時37分バス乗車します。

ウラシマソウに出会えば嬉しいですね

牡丹園も満開でしょうね

5月13日 山城地域の最高地点 鷲峰山

鷲峰山の自然を訪ねる会にご参加ください

宇治田原町南 一宮神社前 10時集合です

5月14日 木津川の花をたずねる会

近鉄新田辺駅西口 10時出発します

どんな花に出会えるでしょうか。植物調査をしている調査員の皆さんからいろいろ押しただけでしょう。ウマノスズクサは大きくなっているでしょうか。

新緑を求めて雨中のハイク

5月7日はあいにくの豪雨という天気予報でした。集合してきたのは6名でした。光田先生も駆けつけ、解説書を準備していただいた太田さんもお越しいただきました。小降りになり空模様もよくなってくる気配でしたので出発、タンポポが元気に咲いています。ウマノアシガタも光っています。きれいな白い花をつけた「カマツカ」が満開でした。登山口までの花々がみずみずしく感じられました。登山者登録箱には、4月以降25名の記入がされています。周辺は大村さんや森島さんが草刈りをして今日のために整備をしていただきました。コースは昨年のオープン時に比べて多くの人たちによってずいぶん踏み固められました。この調子だと迷う心配はなくなるだろうと一安心でした。高船集落に着くと雨足が激しくなってきたので中止としました。棚田風景など楽しみにしていたところは次回にとっておきました。丁度正午解散となりました。

4月度の生物多様性保全調査結果

参加者 33人 活動日数 7日間
標本化植物数 139品(重複数65品)
基礎種数(684)に追加 9種(新発見)
総標本数 206種

学研都市ケーブルテレビ局が取材に

学研都市をエリアに活動しているTV局から5月21日に予定している「田植え作業」の取材の申し入れがありました。

去年好評でした水鉄砲づくりを今年も計画しています。出来るだけ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

尾根筋ハイクの紹介も

尾根筋ハイクコースの取材も行って紹介していただけるとのことです。取材にはテレビ局から取材班が派遣されるそうです。日程が決まりましたら、お知らせします。ご参加ください

5月13日山城地域の最高地点

鷲峰山の自然を訪ねる会

宇治田原町南 一宮神社前 10時集合です

5月14日 木津川の花をたずねる会

近鉄新田辺駅西口 10時出発します

どんな花に出会えるでしょうか。植物調査をしている調査員の皆さんからいろいろ教えていただけるでしょう。ウマノスズクサは大きくなっているでしょうか。

100プラン募集に寄せられた提案

里山再生100プラン

小豆栽培 料理用野草の販売 ヨシの簾作り

木津川再生100プラン

薪の浜復活 水主のわたし復活 金魚流し
防賀川堤に花いかだ 精霊流し

いろんなアイデアをお待ちしています。

ドンドンお寄せください

田圃の畦草刈をしました。

5月21日予定の田植え作業の前準備として畦の草刈をしました。田圃は耕運機で早くも耕し田植え準備が進んでいます。皆さんが歩くあぜ道の安全確保のために、10日の午後から雨が降り出す中、森島さん大村さんなどが草刈機をフル稼働2時間30分の作業でした。

藪際には今を盛りとシャガが満開でした。

絶滅危惧種のイヌナズナの種子採取に成功!

植生管理地に自生するイヌナズナの種子の採取をと考えてきましたが、なかなか適期に出会えませんでした。森島さんが自転車で少しの時間でもと幾度も出かけて、やっと種子採取に成功していただきました。小さな植物ですから春になると他の植物の陰に隠れてなかなか見つけ出すことが困難になります。

これも春先から植物調査に幾度も出席されて、付近の状況把握が出来ていたからでしょう。

5月13日山城地域の最高地点

鷲峰山の自然を訪ねる会 あいにくの雨の中、金胎寺まで登る

集合時間の10時には雨足が緩み始めたので出発しました。宇治田原町南 一宮神社前には20台近くの自動車が駐車していました。聞くところによりますと茶摘みの皆さんの車だとか。今年のお茶は葉の生育が弱く不作になっているとか。農作物の生産はとにかく天候に左右されるので大変で、工場でものを作るのとは大違いですね。

掛谷林道入り口に移動しました。ここにさし掛かりますと雨が激しくなりました。頂上から下ることに決めて新緑の林道を40分ほど車で登りました。金胎寺入り口から徒歩で進みました。悪天候でしたので出会う人はありませんでした。途中チゴユリの大群落にめぐり合いました。可憐な花です。またマムシグサも大きく姿を見せています。金胎寺に登っている間に掛谷林道の下見を行い、下山が可能かどうかの点検を行いました。激しい降雨のために道が川になっていました。粘土道ですから滑りやすくなっていることが判明したので40分ほどの金胎寺往復で正午になりました。ここで中止としました。

下山の後、掛谷林道の入り口から少し上がってみました。ふじの花が咲き始めていました。房が重なり合ってムラサキが見事に目立ちます。満開に訪れてみたい場面でした。残念ながらミヤコミズは発見できませんでした。

木津川の花をたずねる会

5月14日 24名の参加

昨日とは打って変わって晴天に恵まれました。集合場所の近鉄新田辺駅西口に集合して出発です。木津川堤に全員が揃いました。山本理事長の挨拶の後、恒例の自己紹介です。枚方からきました。伏見から来ました。インターネットを見て催しを知りました。など様々なきっかけで集まってこられていることが解りました。ニワフジ(京都府レッドデータブック・要注目種に54種が指定)をはじめ木津川で発見、

またマキエハギ(京都府レッドデータブック・絶滅寸前種に157種が指定)を木津川京田辺堤で3箇所目も発見するなど大きな成果を挙げる事が出来ました。



ニワフジ

ウマノズクサは約70cm以上に成長していました。ジャコウアゲハが大変多く飛翔していました。ちらちらホソオチョウの姿も見かけました。

オオムラサキの回遊通路確保の草刈り作業が完了。次は6月15日以後にバナナなどの取り付けが待っています。

キンラン・ギンランを確認

ここ数年間見つけることが出来ませんでした。15日に8本も一度に確認しました。今週はこうした貴重な絶滅危惧種に指定されている花に数多く出会うことが出来ました。

恒例行事の田植え作業の準備進む

電話での参加問合せが寄せられています。期待に応えて楽しい取組にしようと事務局会で検討しました。お米や食料のお話、米作りの順序を道具や作業をわかりやすくお話できるようにと民具館などを調べるなどの資料作り、昼食時の工夫などプログラムも出来て、みんな懸命に工夫を凝らしています。

京都府企画環境部より平成18年度京都府生物多様性保全推進事業に係わる補助金と平成18年度地域の自然と文化に学ぶみどりの体験活動支援事業補助金の内定通知が届きました。

5月21日 田植え作業に24人が参加**JA京都やましろから記者が取材に**

久しぶりに五月晴れの日曜日になりました。前日には参加申し込みの電話が沢山かかってきました。市役所広報課にも問合せがありました。予想を超える出席者でした。お米と食料のお話し、そして稲つくりの順序を追った仕事のお話しがありました。それぞれが耳新しい説明でしたので予定の時間を越えても質問が続き、内容豊富なよい取組になりました。次に田植え作業の準備として前日に縄を張って上幅を決めてありましたので、早苗を投げ入れます。早乙女が手際よく進んできたところに次の苗が来るように投げ入れるのです。これもなかなか難しいものです。直球ではダメで適当に高く上げて根元を下に着地するように投げ入れるのがコツです。

これがすんで、代表者が五穀豊穰を祈ってお祓いをしました。参加してくれた子どもたちも全員が順番にお払いをしました。

田植え作業は、見慣れたものですが、苗を2~3本づつ植えます。自分の列に挑戦しました。出来上がりをみんなで確認して、よく揃っている上手なものだと自画自賛です。ご苦労様でした。子どもたちも楽しく泥田で植えました。お昼には、温かいぜんざいが振舞われ、これもまた絶品だという声が上がりました。

この日の参加者が24名、丁度ころあいの人数でうまくまとまって全員が共同体験出来ました。収穫にも来たい、差し当たってホテルの夕べにも参加しますと詳細を尋ねておられました。

**堆肥の購入・・・名古屋から40袋・・・注文19日にとどける**

インターネットで里山の会の堆肥を知って譲ってほしいとの注文がありました。本当かなと耳を疑ったのですが、電話で確認すると是非ほしいとのこと、宅急便だと4万円とのこと、事務局で相談したところあまりにも気の毒なので、私たちが届けようと決まり、大村さん森島さんが宵積みをして午前6時に京田辺を出発、瑞穂子供の家まで運んでくれました。

園長の森下京子さんと子供たちは大変喜んでいただきました。早速お礼のメールが届けられました。

里山再生と木津川再生の100プラン募集中

プランが2つ具体的に取組が進んでいます。

1 ヨシを使ってのすだれ作り

三川合流地点と飯岡浜でヨシ刈り取り実行

2 里山とカワセミの暮らし写真集

編集作業が進んでいます。小川正明さんの撮影された写真100枚が選び出されました。

現在コメントの書き込み中

木津川清掃ウォーキング 参加者募集中

京田辺生活学校の皆さんがご参加の連絡をいただきました。後援を国交省淀川河川事務所、琵琶湖・淀川水質保全機構さんから承諾をいただきました。

呼びかけの看板を作りますので、手伝ってください。 26日・午後1時事務所

里山の会体制が整いました

会計	対外担当	黒光輝政理事
	出納帳記帳	山村武正常務理事
	現金管理	森幾久子社員
会誌	担当	中屋厚子理事 (全員が協力)
業務作業	担当	山本雅晃理事長 森島保社員
多様性調査	担当	森島 保 伊藤千恵子社員
		大村幸正 鈴木由紀枝会員

生物多様性調査から

山城町でスズサイコ発見

29日 上島班、山本班、伊藤班の三組が調査に出かけました。伊藤班が分担した山城町で始めてスズサイコを28本確認しました。丁度開花直前でした。翌日坂田一郎さんが撮影に出かけました。



この日は35品の標本が採取され、確認植物は3班で75種以上になりました。

5月度の活動記録

調査活動参加者数	延べ	52人
調査標本時間数	延べ	193時間
標本化数		144品
基本目録 追加種		7種

木津川植生管理地から

京田辺市で昨年(7本確認)に引き続きスズサイコ3本確認できました。

葛のつるとヨシが伸びまじめましたので今年2回目のつるとヨシ切を行いました。

タヌキマメは発見できませんでした。

(ヤマアマドコロの結実を写真撮影)



5月最終事務局会議から

里山再生と木津川再生 100プラン

木津川を活用したウォーキングコースの設定が提案されました。コースを考えるだけでも大変楽しいひと時になりました。皆さん日ごろに木津川の堤防を歩いておられるので非常に詳しく沢山のアイデアがドンドンわいてきました。今年中に企画して試行してみようと意気投合しました。

ホテルの夕べ・里山音楽会の準備

行灯作りのデザインを出し合いました。従来の水ローソクを使った竹燈籠に加えて細い竹で骨組みを作り紙を張って、絵を描き入れ、それを組み合わせて行灯作りをすることになりました。また、同志社大学の4日の取組に参加して参考になる竹細工を学んでくるとの発言がありました。

プログラム

午後2時集合	普賢寺小学校から	移動
2時20分	観察会	行灯作り
5時30分	夕食又は里山音楽会	
7時00分	行灯点火	

木津川清掃ウォーキング 6月3日 (土)

参加者募集中



集合 近鉄鉄橋下 午前10時

新体制が整い中屋厚子さん〔会誌担当〕

早速原稿依頼に奔走

会誌作りで最も困難な作業が原稿集めで期日に集めきることだと昨年の経験から、リストアップして原稿依頼に精力的に回り始めて早くも6人から約束をいただきました。

みなさんのご協力をお願いします。

木津川清掃ウォーク

晴天の下 24 人が集まり手原川までの北コースと山城大橋までの南コースに分かれて歩きました。近鉄鉄橋下から早速ペットボトルやアルミ缶、ビニール袋、それにタバコの吸殻を沢山拾い集めました。テレビや一輪車、写真フィルム 300 本など常識を超えるものが見つかりました。南コースでは鉄の箱やプラスチックケースなど大型のものが見つかりました。

初めて参加してくれました京田辺市生活学校の皆さんも木津川の堤防などには滅多に来ないのですが、これだけ放置されていることは許されないことだと怒りを現しておられました。

約 1 時間 30 分の清掃ウォークでしたが、それぞれ私たちの町、環境を良くしようという熱心な行動をしていただきました。特に今年は団体参加があって、ともに新しい力を感じあうことが出来て、力がわきました。

暑い中ご苦労様でした。



関西学研都市のケーブルテレビ「キネット」

尾根筋ハイキング コースの撮影に

6 月 16 日から 30 日まで連日放映

キネットから 7 名のスタッフが来られて普賢寺小学校前に集合しました。里山の会からも山本雅晃理事長以下 7 名の出席でした。

一つひとつのシーンを順番に撮影し、そのシーンの後半にロングからの同じシーンを撮影することになります。現場で状況に合わせてシナリオを組み立て修正しながらですから大変時間がかかります。水取のバス停、ラクウショウ、案内看板、バスから下りるところ、ハイキングコースを進むところ、登山口、急坂の登坂、展望のよいところ、三角点、木漏れ日の場所とそれぞれのポイントを進みました。いつの間にか気が付けば 1 時 30 分で、打田の極楽寺で昼食をいただくことになってしまいました。後半は急ぐこと

になりましたが、それでも天王のバス停には 5 時過ぎになりました。

最終カットは水取の大富大工さんの工房を訪ね大工さんの心意気をお聞きました。

付き合った 1 人として、撮影は本当に大変な作業の連続で多くのスタッフが必要な仕事だということを強く感じました。ご苦労様でした。



里山の最も優れた自然観察 定番二連発

6 月 10 日は

ホタルの夕べと里山音楽会

これまでのホタルの夕べと比較して最も適正な時期に催しの日程になったような感じです。皆様の期待に応えられるようにホタルが飛んでくれればいいなと思っています。

里山音楽会では新井壘山^{こっさん}さん一行 4 名の尺八演奏と詩吟、そして尺八演奏の初心者向けの手ほどきが準備されています。また竹を使った行灯づくりも趣向が工夫されています。そのほかお楽しみな催しが準備され、ひと時をたのしみましようと呼びかけています。

6 月 17 日は

親子自然教室

中部住民センター 10 時集合

植物と昆虫の観察を行います。途中養蜂家の小川さんからの蜂と蜜のお話を聞かせていただきます。約 5 km くらいまでの範囲で花の蜜を集めるそうです。環境庁指定の鳥類標識調査員中川宗孝さんから鳥などのお話を聞きます。乞うご期待です。お越しく下さい。

6月10日

ホタルの夕べと里山音楽会 子ども9人・大人27人

今年の参加者は予定の時間にほとんど集まりました。初めの挨拶に続き予定と注意の連絡のあと即植物と昆虫観察に出かけました。用意した標本(50種近い草花)やプリントなどを使って2時間ほど観察しました。ヒツジグサにも出会うことができました。

休憩の後、子どもたちは竹行灯に使う絵を描



きました。観察した花や昆虫など上手に書きました。お父さんやお母さんは竹行灯の製作に力を入れました。初めての竹細工にしては大変上手に出来上がりました。竹のまっすぐな性格を知って、ノコギリや鉋などを使って切り取っていきました。



6時ごろに昆虫と植物観察などのまとめを行いました。そしてお楽しみの里山音楽会の幕が開きました。新井さん一行4人による尺八演奏です。メンバーの経験は5年から30年と紹介がありました。尺八の音の出し方をビール瓶などを使った指導もありました。「蛍」や「故郷」「コンドルは飛んでいく」などの曲に加えて、飛び入りの詩吟も織り交ぜ、3部合奏や独

奏あり10曲の演奏があつという間に終わりました。アンコールもはいい、大変盛り上がりました。演奏の途中では鶯の谷渡りとの競演となったりオオタカの飛翔が背景に加わるなどなど思わぬ演出効果もあって、楽しい里山音楽会となりました。



とぼりが下りてくると皆で作った行灯に明かりがともされ、素晴らしい雰囲気になりました。予定の8時過ぎにあちでもこっちでも蛍が飛び始めました。歓声が上がります。昨年よりも大型の光の強いものが多かったようです。

初参加の皆さんも多かったようですが、皆で作上げる参加型で進めましたので、すっかり気心が知れ、初めての出会いとは思えないほど和気あいあいとした雰囲気ができました。

あめ湯も暑い時期でしたが田圃の水で冷やしておきましたので飲み頃でした。

親子自然教室

中部住民センター10時集合

植物と昆虫の観察を行います。途中養蜂家の小川さんからの蜂と蜜のお話を聞かせていただきます。約5kmくらいまでの範囲で花の蜜を集めるそうです。環境庁指定の鳥類標識調査員中川宗孝さんから鳥などのお話を聞きます。乞うご期待です。お越しく下さい。

第4回生物多様性推進委員会から

村田、光田先生を始め上島さんなど14人で調査活動の中間まとめと今後の方針を確認しました。標本の出来栄は素晴らしいと評価があり、ラベルの記入について検討しました。南北に長い調査範囲だから、今年は25調査点を精査して、徹底生育調査を行うことにしました。

親子自然教室 途中降雨も何のその 39人の参加で充実した一日

感想文が寄せられました。

『生態系のピラミッドのお話を聞いて、沢山飛んでいるホソオチョウもウマノスズクサが豊富にあるからこそ、その姿を楽しむことが出来るということを実感しました。実物・標本と見せてもらいながらの亀やヘビ、鳥、魚の説明はとてもわかりやすく、子どもだけでなく、大人もワクワクしながら興味深く聞くことが出来ました。名前は知っていても見たことがないもの、見たことはあっても触ったことがないものを身近に見たり触ったりというとても貴重な体験をさせてもらいました。どうもありがとうございました。』(木津町の村田さんから)



蛍の夕べと里山音楽会の感想文も・・・

『雑草という草の名はないのだから、草花の名前が覚えられたらいいなあと思っていました。今回の植物観察で草花の名前や特徴のお話を興味深く聞きました。スタッフの方々のアドバイスをもらいながら作業した竹灯籠作りや尺八の演奏会、そして蛍の観察と、どれもとても楽しく過ごさせていただきました。そして何よりもスタッフの方々の笑顔・温かい対応。自らも楽しそうに活動されておられる姿にとても居心地のよさを感じました。準備から後片付けまで大変なご苦労もあったことと思います。深く感謝しています。本当に有難うございました。小学校4年生の息子がこの日の事を宿題の日記に書きました。』

「草の名前」も面白い!

昨日京田辺の田圃や畑の近くを歩きながら里山の会の人に草の名前や特徴を教えてもらいました。特におもしろかったのが、カラスビシャクとひつじ草です。カラスビシャクは花まで緑色でひしゃくのよ

うなおもしろい形でした。こんな草をはじめてみたからびっくりしました。ひつじ草は、ひつじの時刻(午後二時)に咲くから、この名前がついたそうです。今では数が少なくて 貴重な植物だから 絶滅しないでほしいと思いました。草の名前は、その草の特徴からつけられたものだといろいろ教えてもらって おもしろいと思いました。』

夏の昆虫観察会 (6月25日) 参加者募集

国蝶オオムラサキに出会えるかなあ

昨年と同様にバナナを取り付けました。いつものスーパーでは、近頃不良品が出なくなって捨てるものが無いとのこと、高い普通のものを購入しました。

においが漂うように二日間屋外で放置して黒くなるのを待って昨日、森島さんと蚊に食われながらバナナを取り付けました。金森さんから樹液ゼリーをいただいて新しい試みをしました。

一応準備が整いました。

皆さんのお越しをお待ちしています。

事務局会議から

文化祭出展について(11月4～5日)

参加型を取り入れよう 山と川で行こう

ハイキングコースの紹介ビデオを使おう

コースのピオトープを背景に使おう

水槽を使って木津川の魚を展示しよう

2つのブースを個別に使おう

こんな意見が出されました。

21日 河川レンジャーの任命式が行われる

「やましろ里山の会」の山村武正氏が木津川を管理する国交省淀川河川事務所の河川レンジャーに任命されました。これは、住民と行政が一緒になって川の管理や整備を行うため、住民と行政の間に立って、行政が責任を持たなければならないこと以外で、危険を伴わない河川管理上の役割をになうものです。主な活動としては、防災の推進、川の管理を支援、環境保全を図る、川の歴史・文化の普及や啓発、川づくり・人づくりへの参画・支援などがあげられています。山村武正氏までご意見をお寄せください。

**夏の昆虫観察会 31人が参加
オオムラサキに出会おう**

残念な空振りでした

準備万端整えて当日を迎えました。何しろバナナが腐敗しないのですから大変でした。樹液ゼリーも使わせてもらいました。強烈なおいが漂います。当日、木には大きな蜂が蜜を吸っていました。冬の幼虫観察には過去最大の9匹が確認できていたのに本当に残念でした。ホームページをみて伊丹市からも家族連れでご参加いただきました。



午後から場所を移して金森先生のカブトムシの成育や生態と外国と日本のカブトムシの標本を見ながらお話を聞きました。

**オオムラサキ観察から見えてくるもの
里山管理の必要性**

これまで最も多くの樹液を出していたクヌギの大木が倒壊して穴場がなくなり、他の場所で確認できていました。ここ2~3年前は棚田でしたが耕作放棄となり雑草が繁り始め手入れされず、竹などの進出が目立ち始めました。1ヶ月ほど前には通路を確保の草刈りをしましたが、全面的にはとても無理です。以前は田圃に隣接していた里山林も文字通り放棄された状態になっています。こうしたことからオオムラサキには生育しにくくなった条件ではないかと話し合っています。

この状況は、この付近だけではなく普賢寺地域の里山といわれてきた一帯が同じような状態になっています。先の事務局会議で、オオムラサキだけではなくササユリなども一面に咲いていたが手入れがされなくなって全く見られなくなった。気候の変化もあるだろうが手入れ不足が生み出したのではないかと意見がありました。

そうすると、こうした植物によい条件とは、すなわち里山への人手をどのように呼び込んでいくのかという大問題にぶつかることになります。

**木津川での魚とり(8月27日)参加申し込み
早くも申し込み届いています。**

昨年参加して大変楽しかった、今年も楽しみにしていますと八ガキが寄せられました。この人気だと人数制限が必要ではないかということも予想されます。また、安全確保のためのスタッフも合わせて募集しなければ対応できないのではないかと懸念もあります。

第10回里山講演会 講師決定 9月2日(土)

野間直彦氏 滋賀県立大学講師 (理学博士)
先生には大変ご多忙の中ご無理をしていただいております。過日彦根市にある滋賀県立大学の先生のお部屋をお訪ねし、講師依頼をさせていただきました。先生は精華町でオオタカを発見された方で、山城については大変詳しく、第1回「自然と環境」講演会でお世話になった田端英雄先生のお弟子さんであると自己紹介をいただきました。

植物調査にご参加ください。

これまで私たちが10年間歩いて調べてきた木津川の植物に関して、昨年度から全植物(684種)の標本化を目指して作業を進めています。そして出来るだけ成長過程がわかる標本を目指しています。

この調査の中でフナバラソウという植物をある年の調査で最大3本を見つけましたが、今年はまったくその姿を見ることが出来なくなりました。結論付けは早いようですが、絶滅したように感じます。この結果からなにを導き出すのが専門の先生のご意見を伺いたいと思います。(木津川で一箇所でした)

広範囲に及ぶ地道な調査を積み重ねて貴重な資料を完成させたい、名前を覚えようと続けています。また暑くなる7月8月をどう乗り越えるのか英気を養っています。そして1人でも多くの皆さんと植物調査活動を通じて仲間になればいいなと思っています。植物に関心をお持ちの皆様、ご参加ください。指導者は日本屈指の植物学者(本会顧問)の村田源、光田重幸先生です。

9月9日「木津川の花をたずねる会」もこの一環の取組に位置づけています。

多様性保全事業

植物調査 7月の日程

午前9時事務所集合 10時まで

金曜日と日曜日に実施

作業内容は極簡単なものです

ご都合のつく方ご参集ください

皆様のご協力をお待ちしています。

をすべてチェックして新しい方にご登場いただくように電話依頼をしています。ある会員さんは反応が嬉しかったとおっしゃっています。

会誌21号編集作業

毎週水曜日 午後1時30分から15時まで

場所は本会事務所です 冷房設備あります

ご協力いただける方お越しく下さい

作業は誰でも出来る簡単な作業です。

会誌原稿の依頼で嬉しかったこと
電話番号を頼りに電話をかけました。「会誌を送らせていただいています、これまで原稿をいただいているので何とか会誌原稿をお書きいただけないでしょうか」「これまで会誌を読ませていただいています、なかなか出席できなくて・・・」「なにを書けばいいのか解りませんので・・・」「今電話をおかけしましたことについて感想をいただければいいですよ」「わかりました。これまでは見るだけでしたが、電話をいただきましたので、出来るだけ努力をして催しにも参加しようと思います」と原稿の約束のうえに、参加するという声を聞かせていただきました。私は一人ひとりに声をかけることが非常に大切だと気づかされました。毎週の編集会議で手分けをして声をかけて行こうと思いました

木津川堤防

これからがお花満開の季節を迎えます

真っ盛り オオマツヨイグサ

これから カワラナデシコ

蕾大きくなる オニユリ ヤブカンゾウ

田圃の畦とハイキングコースの大田尾の草刈り終了
田圃の畦は時期が少し遅かったので太く大きくなって、また淡竹が進出して竹の繁茂が見られて時間がかかりました。大田尾はクズと笹がものすごく繁茂し通路がふさがれていました。

里山の会ホームページの閲覧者一ヶ月で500件となっています。かなりの人々が関心を持っていただいていることがわかりました。

そば打ち体験参加者残り枠1人募集

7月15日 土曜日 9時より12時過ぎまで

場所 京田辺市中部住民センター 参加費 1000円

大至急ご連絡ください 本会事務所まで

木津町の久保田様から感想文がとどきました

はじめまして、先程電話で高ヶ峰の場所を尋ねました、木津町の久保田です。先月ケーブルテレビでハイキングコースが紹介されたのを見まして6/30にコースを周ってきました。

感想は一言で言うと、近くにこんな自然が残っているんだ！と感動しました。昔はどこにでも、あった風景なんですけど。手作りの看板やコースの整備もされていました。でも正直、あまり紹介されて人がたくさん来ると心配です。

明日天候がよければ高ヶ峰に挑戦してみます。ハイキングコース整備500円協力します。では失礼します。 7月5日 15:27

会誌21号の原稿募集

締切日 9月10日 必着 事務所まで送付のこと
1000文字(資料・写真込み)単位でお願いします。
声をおかけして、初登場の会員さんの原稿を求めています。会誌担当に決まった方は、これまでの20号

世界遺産をたずねる会

7月18・19・20日 乗鞍岳と新穂高に挑戦します。
ご希望があれば少し枠があります。ご連絡ください。

(昨年は四国の石鎚山と剣山に行きました)
近鉄新田辺西口6時 竹田駅バス停6時20分出發
現在参加者は18名となっています

柿山の草刈（第4回目）作業を行いました。

柿山の雑草の繁り方は想像を超えるものがあります。イネ科の植物があっという間に繁ります。たちまち60cm～1mになり密集して巨大な群落になります。チップソーでエンジン全開でも刈り取ることが出来ません。一本一本が細い植物でも群れになると手に負えなくなり、何倍もの人手と時間がかかります。回数は多くなりますが、巨大になる前に刈り取ることが必要です。これから梅雨明けの季節は病気の発生に気をつけ、草の成長に負けない草刈がよいよ本番になってきます。お手伝いにお越してください。

木津川堤防

ヤブカンゾウ・ノカンゾウ、カワラナデシコが真っ盛りで際立っています。ジャコウアゲハはめっきり目に付かなくなりました。オニユリも蕾が大きく高くなりました。今年はオニユリの成長がいいのが目に付きます。



会誌 21号原稿募集 締め切り9月10日必着

資料などを含めて1000文字以内

新しい担当者に加えて補助者の二人体制が整いました。事務局全員が出来るだけ都合をつけて毎週水曜の午後力を合わせることを申し合わせました。

ツバメのねぐら入り観察会

例年に比べて少し早いような気がしますが8月5日に計画をしています。久しぶりに青空講演会を開催いたします。本会顧問で「消えた湖」として巨椋池の歴史を研究されている上島 裕さんから講演をいただきます。乞うご期待です。宇治川の堤でお話を聞いてみましょう。防虫対策を工夫してきてください。その後お持ちいただいた夕食を食べながらツバメのねぐら入りを観察します。

12日尾根筋ハケング コース看板 近鉄三山木駅に設置



駅前整備のために第三番目のハケング看板が取り外されていましたが、このたび近鉄西大寺保線区のご好意によって三山木駅改札口正面に取り付けすることが出来ました。

第10回里山講演会 9月2日 土 午後1時

京田辺市社会福祉センター

仮題「獣害から里山を守る」として滋賀県立大学講師の野間直彦先生にお話をいただきます。全国各地で放置されている里山、高齢者化でますます放置され、林業で食べていけないので若者も見向きもしなくなり、輸入木材によって供給十分な山林が見捨てられている。こうした時、獣による被害が続発して農作物が食い荒らされ、ひどいことになってきています。どうすればいいのでしょうか。一緒に考えて見ましょう。多くのご参加をお待ちしています。

乗鞍岳と新穂高に挑戦

7月18・19・20日 近鉄新田辺駅西口6時出発
余裕2名分あります。

生物多様性保全推進事業

中間総括報告集会日程決まる

05年度から07年度の3カ年計画の中間期を迎えますので、調査結果のまとめと報告を行うことになりました。関係者の皆様にお集まりいただくことになりました。顧問の村田源先生や光田重幸先生のご出席いただきます。

木津川の植物に関心をお持ちの皆様のお越しもお待ちしております。

日時 8月17日 午後1時より4時まで

場所 京田辺市中央公民館

後半の調査活動に参加してみようとお考えの皆様もぜひ起こしてください。木津川中下流域における画期的な調査活動です。基本的には684種の植物が確認されています。新たに追加する植物も続々確認されています。ご協力をお待ちしております。

世界遺産をたずねる会

乗鞍・穂高に挑戦 7月19日~20日

総勢18人の参加 3000mを目指しました。あいにく新田辺の出発の時から土砂降り、悪条件でした。初日は新穂高ロープウェイで西穂高口2156mまで7分で到着、西穂山荘往復をを目指しました。屋外に出るとものすごい強風で横殴りの雨、雨対策を再点検して出発、木々の中に入ると風も治まり、歩きやすくなります。出迎えてくれたのがキヌガサソウでした。所々にマイズルソウが見られます。



眺望は全く望めず、足元の確認に神経を使いながら進みました。約40分ほど進みましたが、この先危険、独標で昨日滑落事故があり、今朝から自衛隊が出ている。ヘリコプターも出動中、まだ発見されずとのニュースを聞き返すことに決定、明日の乗鞍の剣が峰登山に期待を寄せて宿舎に戻

ることに、途中の梓川の水量は大増水で地滑りの跡が生々しく見られました。

乗鞍休暇村の宿舎で鋭気を養うことに、天気予報では、明日も降雨確立は70%で少しの希望を託しました。夜の道路状況では国道に土砂崩壊が発生し通行止めとなり宿泊客も宿舎の職員さんも出入りが出来なくなり、缶詰状況になってしまいました。乗鞍へのシャトルバスも松本から来ることが出来なく、すべての道路の閉鎖となった。

翌朝まで降り続いた雨は止むことはなく、降り続けました。仕方なく付近の散策に出かけました。

三日目の天候回復に期待をしていましたが、道路閉鎖は解除されることなく3000m乗鞍への挑



戦は次回へ持ち越しとなりました。

帰路天竜川で橋が落下していました



木津川の魚とり

8月27日 午前10時 山城大橋東詰に集合

参加希望者はハガキで申し込んでください

続々届いています。先着50組で予定しています。

小学生の皆さんは父兄同伴をお願いします。

また、当日のスタッフも募集しています。

つばめのねぐらいいり 参加者募集

8月5日 集合午後4時近鉄向島駅改札口

ツバメのお話を白木弘一さんからそして巨椋池のお話を上島裕さんからいただきます。虫除け対策を準備してください。長袖上着や長ズボン団扇、筆記具、夕食をご用意してください。

ソバうち体験実施

7月15日 みんなで楽しい一時を過ごす
10人の希望が集まれば開催が可能です。

指導者の下村御夫妻の親切な準備と丁寧な解説と作業指導で全くの素人が見事にソバ打ちができました。そば粉に加える水分の加減が最初の急所で、パン粉状態にしていくこと、そしておから状態に練ることそして最後のピンポン玉状態、空気をぬくためにおむすびに練り上げることなど、きめ細かな説明に納得しながら挑戦させていただきました。伸ばしかさね、包丁で細く切り湯がいて試食をしました。楽しい一時を過ごしました。4人前が打ちあげりましたので試食のあと家への土産に持ち帰り、家族に腕前を披露しました。

今後ご希望があれば、下村さんにご無理をお願いしてソバ打ち体験も取り組みますので、ご連絡ください。10人がまとまりましたら実施いたします。

事務局会議から 拡声器の購入を決める

結成10周年記念事業で唯一実行できていなかった解説や説明を戴くときに使用する拡声器の購入を決定しました。ワイヤレスマイクが使用できるので大変使いやすく、乾電池を10本使用しますので大きな音量が出て聞き取りやすいものです。これから各行事で威力を発揮すると思います。

早速ツバメのねぐら観察の青空講演会が使い初めとなります。

木津川の魚とり

8月27日 午前10時 山城大橋東詰に集合

参加希望者はハガキで申し込んでください
続々届いています。先着50組で予定しています。
小学生の皆さんは保護者同伴をお願いします。
また、当日のスタッフも募集しています。

つばめのねぐら観察 参加者募集

8月5日 集合午後4時近鉄向島駅改札口

ツバメのお話を白木弘一さんからそして巨椋池のお話を上島裕さんからいただきます。虫除け対策を準備してください。長袖上着や長ズボン、団扇、筆記具、夕食をご用意ください。

第2回理事会の開催日決定

年度中間に開かれる今年度の第2回理事会は**8月25日金曜日**に決まり各理事に召集状が発送されました。みどりの体験活動助成や生物多様性保全推進事業といった京都府の助成事業、木津川植生維持管理作業の委託事業、前半事業の総括と後半事業の更なる充実、木津川河川レンジャーの任命、と昨年以上に内外から期待が高まっています。ホームページ開設2周年、週間ニュース発行100号突破など、長年の積み重ねが続いています。活動参加者数も昨年は1000人を突破するなど大きく前進させました。昨年の実績を超え新たな峰が築けるでしょうか。理事会の真価が問われると思われれます。理事各位におかれましては万難を排してご出席いただきますようお願いいたします。

木津川堤防 オニユリ大満開

たびたびお知らせしてきましたが、オニユリが満開です。残念ながら、堤防の草刈りが始まり、みんな刈り取られてゆきます。この作業がなければ勢力の強い草がのさばって、背の低い草は大きくなれず花も付けられず子孫を残すことができなくなるのです。昔の頃の里山管理の手法がこの堤防の草刈という形で保存されているのです。その結果絶滅危惧が心配されている植物の生育が継続されているのです。

8月17日 午後1時より4時まで

生物多様性保全推進事業木津川の

植物調査の中間報告会を開催 参加者募集

684種の植物が確認された資料に基づき現在の状況を調査しています。新しく確認されたものも数多くあり、木津川の生育環境の多様性が証明されつつあります。残る一年半をさらに充実した活動にすること、またこの調査の重要性を再確認する機会として開催いたします。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

「石ころに魚の絵を描こう」が名張市赤目瀧赤目温泉「対泉閣」で30日午後1時に開かれます。楽しい取組です。ご参加ください 問合せ事務所まで

ツバメのねぐらいり観察会

参加者募集

関西では最大のツバメの集団ねぐらに4万羽といわれるツバメが集中します。大空一面に乱舞するすごさは自然の力の大きさを体験させてくれます。そして足元、肩などをすごいスピードで飛び込んでいきます。ぜひ一度ご覧になってください。ヨシの高さは3mをはるかに超える高さになっています。外敵の襲撃の恐れがないので安心して眠れるのでしょうか。

この日は、消えた湖のお話を上島裕顧問からお話して戴きます。木津川、宇治川、鴨川、桂川などが流れ込む巨大な巨椋池の干拓が完成したのは第2次世界大戦が終わる頃でした。戦後の食料危機に大きな生産力を発揮したと聞きました。また、ツバメの生態についてのお話を白木弘一さんから聞かせていただきます。ご近所お誘いの上、沢山のご参加をお待ちしています。

8月5日 午後4時 近鉄向島駅改札口集合 服装（長そで 長ズボン 団扇） 夕食・水筒を持参

打田田圃の畦の草刈り作業終了 7月31日

5月に早苗を植えた田圃の周りには雑草が生い茂りました。梅雨が過ぎると暑い夏にさらに大きくなりますので、田植前と梅雨中ごろそして3回目の草刈りをしました。2～3本を植えたに過ぎなかったのですが、今では田圃一面に稲が茂りました。早いところではイネの穂が出始めすずめを追い払うしかけが作られてきました。私達の田圃でも8月の中ごろ過ぎには穂が顔を見せてくれることでしょう。

新米のご注文を受け付けています。

8月最初の事務局会議から

11月の文化祭出展では松かさツリーを体験していただくことが提案されました。南京はぜの実と松かさを使用します。モデルも作られました。事務局ではこれはすばらしいとの評価が上がりました。

24回京都木津川マラソン大会用の駐車場の除草作業の4回目が完了しました。昨年前回初めて使ったところは激しいフジツルが繁茂して整備が大変でしたのでこの冬から全面草刈りを行ってきました。

多様性推進事業 「木津川の植生調査」から

植物標本採取の標本完成作業を実施

8月2日 事務局会議出席者全員で標本完成作業を実施。村田源先生の確認によって花の名前が決定したので、ラベルを標本の台紙に貼り付けました。

17日の中間報告に前半期の集約まとめに必要ですので急遽ピッチで仕上げました。

堆肥の袋詰め作業を実施、8月2日

30袋の購入注文がありましたので炎天下の下の作業でしたが、実施しました。確かに堆肥を使用すると畑の土質が大きく変化して、柔らかくなってきたおおいに収穫が楽しみだとお話されていました。

河川レンジャーから

6月に行われた河川レンジャー任命式での歓談会で国土交通省木津川出張所の高木所長が、山城町の北河原にある管理事務所の利用について、レンジャーの皆さんに加えて広く活用されるように期待していると発言。9月23日の新レンジャーの現地見学会がここを木津川の出発点として行われます。

木津川の魚とり

参加者募集中

8月27日

日曜日 午前10時より

夏休みの最後の日曜日、楽しい魚とりを計画しました。南山城を代表する一級河川のワンドと底に流れる浅瀬を使って、魚とりを行います。昨年は68人の参加がありました。今年の申込みは早くも16人を受け付けました。先着100人としていますので、お早く「はがき」または「FAX」で住所・氏名・年齢・電話番号を記入して申し込んでください。

ツバメのねぐらいり観察会

この日は真夏を代表する暑さで大変でしたが、淀川堤に上がると心地よい風が吹いて住宅密集地を通り抜けてきたことなど忘れ、小高い丘の上に上がって気分がすっかり大空のように広く大きくなりました。5時から顧問の上島 裕さんの巨椋池のお話が始まりました。はるかな昔は湖のような池があり、桂川鴨川宇治川木津川が流れ込んでいた。豊臣秀吉が伏見桃山城を築き槇島堤や太閤堤を作って宇治川の流れが変えられ、水害などの対策がとられた。しかし洪水時期には相変わらず農民が苦しみました。明治の中ごろ河川改修が行われたが、水質が悪くなりマラリアなどが発生しました。昭和になって日本最初の干拓工事が始まり昭和 17 年に完成しました。戦後の食料確保に大きく役立ったこと。又昭和の初めごろは蓮見船が出てにぎわっていたことが話されました。引き続いて白木弘一さんからツバメはおおよそ年 2 回の子育てをすること、そして冬に東南アジアに渡っていくこと、渡りの前にこうして集団生活をしていることなどがわかりやすく解説していただきました。

持ち込んだ夕食弁当を食べ終わるころ、西の空は真っ赤な夕焼けです。ちらちら帰巣ツバメが姿をあらわし始め夕日が沈みますと大空いっぱいになり、圧巻となり、あっちこっちから歓声が上がりました。これだけのツバメがすごいスピードで飛び交うのに衝突が発生しない、又ヨシに飛び込んでいるのにそよぎもしないスーッと何事もなかったように消えてゆきます。ツバメの能力に驚きました。

もう少しの間、お盆前後まで毎日見られるそうですからごらんになってください。

木津川植物調査実績中間発表会 8月17日 多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

昨年度からはじめてきた調査の結果を発表させていただきます。そして、後半への取組方法を検討します。関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。8月17日午後1時から京田辺市中央公民館 村田源、光田重幸先生もご出席いただきます。

同志社大学の学生さん 2名来訪

農家の皆さんと茶園栽培を行っているが、竹炭を活用したい。生産するにはどのようにすればいいのかとの相談でした。夏休み中に伐採を行うとの予定でした。山仕事としては大変な時期ですが、実行するとなれば、皆さんのお手伝いにご協力をお願いいたします。

木津川の魚とり 参加者募集中 8月27日 日曜日 午前10時より

夏休みの最後の日曜日、楽しい魚とりを計画しました。南山城を代表する一級河川のワンドと底に流れる浅瀬を使って、魚とりを行います。昨年は68人の参加がありました。今年の申込みは早くも25人を受け付けました。先着100人としていますので、お早く「はがき」または「FAX」で住所・氏名・年齢・電話番号を記入して申し込んでください。

第10回里山講演会

9月2日（土）京田辺市立中央公民館

演題 「木を切って獣害をふせぐー獣との共生を目指す里山再生」

講師 野間直彦 氏 滋賀県立大学環境科学部 講師

木津川の魚とり

8月27日 日曜日 午前10時

集合 山城大橋東詰
参加者に余裕があります。
大至急申し込んでください。

木津川の魚とり 準備進む

お盆の16日 午後から通路の草刈実施
事務局会議の後、出席者から現地の視察もかねて通路確保の作業を行うことが提案され、昼飯もそこそこに行いました。相変わらず山城大橋下には、すごいゴミが散乱しています。先の大雨で青谷川の水量が多く多量のゴミもありました。夏真っ盛りの日中1時間30分間の草刈作業でした。参加された4人の皆さん本当にご苦労様でした。

木津川本流の水量が昨年に比べて少量になっていて、ワンドや小川の水が溜まり水になっていました。

当日のスタッフを募集しています。

昨年は多くの参加があり安全確保のために25人のスタッフがご協力いただきました。今年も昨年以上の参加が見込まれますので、監視員や指導、ガイドや受付、庶務などの協力を求めています。ご協力いただける方のご連絡をお待ちしています。

0774 - 64 - 4183 まで

同志社大学の学生さん 再来所

竹炭製造の日程決まる

8月26日 午前9時30分 集合

水取の府道に沿って約500本の孟宗竹を切出します。学生さんは15~16人の予定で薪炭組合の方に御指導お願いしますが応援部隊も出来るだけ多くお越しください。

暑い中の作業ですが、学生さんは夏休み中に炭焼きしたいとのことですから、このような日取りになりました。京田辺市の農政課から道具の御提供をいただくことになりました。

ご協力いただける皆様のご連絡をお待ちしています。午前中でも午後からでも結構ですからぜひともご協力ください。なおナタなどをご持参いただければ大変ありがたいです。

作業内容は 伐採 寸法切断 竹割 節の除去
束ね 運び出し 残物のあと片付け
服装と道具 手拭 帽子 軍手 長ズボン、長袖の上着 底がしっかりした靴 ナタ ノコギリ 厚カマ 弁当 水筒(十分に)
お持ちでしたらチェンソー

集合 普賢寺小学校前

午前の組 9時30分 午後の組 12時30分

第2回理事会の召集

8月25日 金曜日 午後4時より

京田辺市立中央公民館

議題 活動の中間総括
後半活動について
その他

理事各位の皆さん万障繰り合わせ
ご出席をお願いします。

木津川の花をたずねる会

9月9日 土曜日 午前10時

集合 近鉄新田辺駅西口

持参品 弁当 水筒 筆記具など

花のジュータンに出会えるでしょうか

先生の解説がたのしみですね。

昨年はマルバツユクサに出会いました。

第10回 里山講演会

9月2日 土曜日 午後1時より

京田辺市立中央公民館

講師 野間直彦氏（滋賀県立大学講師）

演題 「木を切って獣害を防ぐー獣との共生
をめざす里山再生」

近頃獣害は身近な話題になってきました。何が原因でしょうか。どうすればいいのでしょうか。自然の大変化なのでしょうか。皆さんと一緒に考えて見ませんか。

以前精華町永谷池付近でオオタカが発見され保存運動が行われました。そのオオタカの見つけ手が、野間先生の学生時代でした。京都南部には相当詳しい先生です。皆様のお越しをお待ちしています。

同志社大学の学生さん

茶園栽培に試用

竹炭製造の日程決まる

8月26日 午前9時30分 集合

竹伐採協力者募集

ご協力いただける皆様のご連絡をお待ちしています。午前中でも午後からでも結構ですからぜひともご協力ください。なお、ナタ・ノコギリなどをご持参いただければ大変ありがたいのです。

作業内容は 伐採 寸法切断 竹割 節の除去
束ね 運び出し 残物の運び出し

服装と道具 手拭 帽子 軍手 長ズボン 長袖の上着 底がしっかりした靴 ナタ ノコギリ 厚カマ 弁当 水筒(十分に)

お持ちでしたら チエンソウ

集合 普賢寺小学校前

午前 9時30分 午後 12時30分

第2回理事会の召集

8月25日 金曜日 午後4時より

京田辺市立中央公民館

議題 活動の中間総括
後半活動について
その他

理事各位の皆様万障お繰り合わせ
ご出席をお願いします。

木津川の花をたずねる会

9月9日 土曜日 午前10時

集合 近鉄新田辺駅西口

持ち物 弁当 水筒 筆記具など

花のジュータンに出会えるでしょうか
先生の解説がたのしみですね。

昨年はマルバツユクサに出会いました。

木津川の魚とり

8月27日 日曜日 午前10時

集合 山城大橋東詰

参加者に余裕があります。

大至急申し込んでください。

第10回 里山講演会

9月2日 土曜日 午後1時より

京田辺市立中央公民館

講師 野間直彦 氏 滋賀県立大学講師

演題 「木を切って獣害を防ぐ

—獣との共生をめざす里山再生—

近頃獣害は身近な話題になってきました。何が原因でしょうか。どうすればいいのでしょうか。自然の大変化なのでしょう。皆さんと一緒に考えて見ませんか。

以前精華町永谷池付近でオオタカが発見され保存運動が行われました。そのオオタカの見つけ手が、野間先生の学生時代でした。京都南部には相当詳しい先生です。皆さんのお越しをお待ちしています。

BYスタンプラリーの案内

やましる里山の会では琵琶湖・淀川流域で水環境の改善活動を行っている多くの仲間と一緒に活動を進めています。その一環として流域での活動を紹介します。スタンプを集めると記念品がとどけられます。皆さん、行事に参加してすてきな記念品を買いましょう。本会事務局にお問合せください。あるいはホームページ <http://www.byq.or.jp/> でごらんになってください。

木津川の魚とり 晴天の下 118 人の申し込み 102 人の参加で 大いに水と遊びました。翌朝の京都新聞で大々的に報道されました。木津高校化学クラブの皆さんの協力で水質調査も実施。中川宗孝さん・福井波恵さん・松村茂さんの協力で投網などで魚を確保 全員が魚に触ることが出来ました。昨日までの濁水で心配 吹き飛ばした昨夜の夕立で水位が上がりワンドに水が戻りました。中には浅瀬に座り込み水遊びで満足された子どもも出現 急造のカメ池も大好評

はじめてこられたお母さん

こんな広い大きな川での魚とりは滅多にできないこと、個人ではとてもこのような大規模な楽しい取組は出来ない、本当に参加してよかった。来年も開催してほしいと大満足でした。

木津川の花をたずねる会 9月9日 土曜日キツネノカミソリ タヌキマメが満開の様子 ご案内できるかも

新米を購入希望の方は早急にお申し込みください 稲刈りを9月24日に予定しています。翌日にはお届けすることができます。値段は昨年と同額です。昨年は希望者が多くて大変ご迷惑をおかけいたしました。私たちが打田の田圃で作った新米です。

竹伐採作業 25・26日の両日 20人で大量の竹を伐採 約2/3が出来る 残りは31日9月1日に

同志社大学の学生さん 15人が竹割り作業を続け2/3釜分が出来ました。前日の金曜日に中心メンバーが準備作業を行い、下草刈りを行い作業広場をつくりました。当日は9時30分に15人全員が集合、里山の会のサポート8人と一緒に孟宗竹を伐採、寸法に切断した竹を8分割や太いものは10分割にして、節を削り30cmの束に仕上げました。午後3時30分ごろに第一日目の作業を終了、翌日の午前9時から学生さん5人が出て、残りの竹を昨日と同様に、割って節を削り取る作業を続けました。なれない道具を使うので、最初はぎこちないスタイルでしたが、二日目とも午後になると要領が飲み込めてスピードアップが進みました。皆さん作業に熱中してしまって、昼弁当の時間も忘れるほど熱心に作業を続けました。この日は特に猛暑でしたが、一生懸命でした。本当にご苦労様でした。

残り必要な1/3の竹は9月7日8日に伐採予定です。午前9時事務所に集合です。お手伝いをお願いします。

第10回里山講演会
いよいよ明後日2日午後1時より 京田辺市立中央公民館
参加者大募集 お誘い合わせでご出席ください

「木を切って獣害を防ぐー獣との共生を考える」

滋賀県立大学講師 野間直彦 先生

「木津川幻想」

本会顧問 郷土歴史研究家 古川 章 氏

尾根筋ハイキングコース ビデオ放映

稲刈り体験 9月24日 日曜日 午前10時集合

打田の田圃で実行 参加者募集

実りの秋を祝ってミニ秋祭り 新米の試食などを楽しみ企画準備中

琵琶湖淀川流域圏連携交流会 結成総会の日程決まる

10月29日午後1時より 京都リサーチパーク (JR山陰線丹波口駅3分)

第9回里山講演会

39人の参加で

充実したお話しに感銘

暑さが少し和らいだと思っていたこの日は又振り返りして大変であった。にもかかわらず会場が満席になる盛況であった。会場前には絶滅危惧種の標本モデルと一昔前の木津川の写真、シカの食害の跡の現物など、滅多にお目にかかれない代物が展示された。山本理事長の開会挨拶に引き続き古川章さんから「木津川幻想」と題して木津川に係わる古典文学と詩歌、そして地名から見える木津川の姿などのお話を得た。

続いて上島裕さんからサルや鹿による被害に加えて京都市西北部の山間部での鹿の「枝折り」について報告された。

野間先生から京都南部でのオオタカの発見がその後の自分の人生に大きな影響を与える出来事で、今日の自分の調査や研究課題に取り組むきっかけになった。そして、現在近江八幡市で行われている羊や牛の放牧によるイノシシによる獣害対策の実例が報告された。多くの参加者は大学と学生そして地元農民に加えて都市住民の連携がうまくかみ合っ、30人以上のチームが出来て月に一回の作業が順調に進んでいる。里山林と農地の間に緩衝地を設けその場の下草刈を行い、柵を張って家畜を飼って、雑草を餌にしてくれるので一石二鳥の効果を挙げているとのことであった。

同志社大学生の竹炭生産の準備作業

9月2日に5人ほどで竹割り作業を実施

9日に節取り作業と原材料の運び出しを計画、この作業が完了し、乾燥を済ませば、いよいよ竹炭生産の本番にかかります。

9月17日炭窯に竹炭の原材料を詰め込み着火です。

9月24日竹炭の取り出し作業と炭の粉碎作業です。

9月6日尾根筋ハイキングのコースの案内が30分間

テレビで放映されました。

皆さんから続々と喜びの電話が事務所にありました。コースの案内ビデオの貸し出しが出来ます。事務所にお問合せください。団体・個人どちらでも貸し出しいたします。無料 送料はご負担ください。

木津川の花をたずねる会

9月9日 10時 近鉄新田辺駅西口集合

今回はキツネノカミソリやタヌキマメ、ツルボ、メガルカヤ、マルバツユクサなどが観察できます。観察会と同時に植物調査もあわせて経験していただきます。沢山の皆さんのお越しをお待ちしています。弁当 水筒など持参してください。参加費 200円

稲刈り作業 参加者募集

9月24日 日曜日 参加費 500円

10時 京田辺市普賢寺小学校前集合

内容 稲刈り作業 はさ掛け作業

コンバインによる脱穀作業

稲わらの始末 モミの乾燥機投入

五穀豊穡を祝って秋祭り 神輿担ぎ

新米試食 (食器一式持参ください)

日陰解消対策実施・竹藪の伐採作業

19日 10時から事務所で神輿作りをします。

お手伝いを求めています。お越しください

会誌「里山の自然」21号

原稿締切日(10日)迫る

皆様の里山への思いや身近なところでの調査や自然の移ろいなど、ローカルなお話をお寄せください。又俳句など詩歌をお待ちしています。10日消印有効

パソコンクラブから

パソコンについて皆で教えあって勉強しています。気楽にお越しください。

出来ればノートパソコン持参ください

毎週木曜日 午前10時より12時まで 事務所で

9月の日程

7日 パソコンクラブ 初心者歓迎 週間ニュース発行

8日 多様性植物採集

9日 木津川の花をたずねる会

10日 会誌21号原稿締め切り

12日 多様性植物採集

13日 事務局会議

14日 パソコン教室 ホームページ更新

15日 多様性植物採集

17日 同大生竹炭着火

18日 鹿背山(柿山)草刈作業

19日 御輿作り 稲刈りに使用

20日 事務局会議 淀川・琵琶湖流域圏交流会勉強会

21日 パソコン教室 ホームページ更新

22日 多様性植物採集 柿山防疫薬剤散布

23日 河川レンジャー 現地視察

24日 稲刈り 秋祭り(神輿担ぎ)新米試食

木津川の花をたずねる会

猛暑の中観察 18名・初参加6名

新入会者1名を迎える

ぶり返した暑さの中久々に大勢のご参加がありました。光田先生や上島先生から詳しい説明を聞きながら進みました。感想文に「タヌキとキツネをしかと見ました」しかのところは第9回里山講演会の話題になっていた鹿と掛けておられる心憎い感想文でした。また右岸とは全く違った豊かな植物に恵まれていることに驚いた。こんなに沢山の花がいっぱいある事を知った、これからも参加していきたい、という声が寄せられました。木津川の花を訪ねる会は本当によかった、ずっとこの機会を待っていたので、と云って、「入会する」とわざわざ事務所を訪ねてこられました。「花を訪ねる会」で新しい会員さんをお迎えするのは久しぶりです。事務局会議の皆さんから拍手が起きました。

稲刈り作業 参加者募集

稲刈り作業参加者申し込み続いています。
新米の購入受付もドンドン来ています。
神輿づくりの設計図も進んでいます。
新米試食用の食器持参お忘れなく。
稲わらを希望者にお譲りします。
田圃のあぜ道を神輿を担いで練り歩きます。
子どもさんのご参加お待ちしております。

稲刈り作業のあと来年の田圃の環境整備として
竹藪の伐採をします。
お手伝いをお待ちしています。1時間の作業

木津川植生調査

調査員募集中

毎週 火・金曜日

午後1時より2時30分

詳細は事務所にお問合せください

パソコンでポスター作り

ボランティア募集中

詳細は事務所にお問合せください

25種類をお願いします

同志社大学生の竹炭生産いよいよ本番に！

9月17日炭窯に竹炭の原材料を詰め込み着火です。午前9時に窯場に集合打田薪炭生産組合や里山の会の協力を得て、切り出し作業、寸法切り、竹割り、節とり、束ね、運び出し、竹林の整理整頓を行ってきました。いよいよ炭焼き本番を迎えます。窯に竹を詰め込み着火をします。煙突の煙から時期を見計らい空気を調節します。夜遅くまで窯の煙を観察します。学生さんは徹夜を覚悟してこられます。里山の皆さんもご協力をお願いいたします。

みんなで作ります！

神輿作り 19日午前10時から事務所に集合ください。担ぎ棒は真竹で、台座に樽を載せて固定し、鳴り物を取り付け賑やかに飾りつけ紅白の布で際立たせ五穀や里山の秋の実を取付けては、と案が出ています。そのほか皆さんのお手伝いとアイデアと創作作品の提供をお待ちしています。紙鎖なども沢山お持ちください。秋風にかわいい音を奏でる鈴などが借用できればと思っています。

木津川の魚たち その1

ブルーギル、ブラックバスの稚魚がいっぱい

27日の「魚とり」に向けて木津川に何回も通いました。木津川から支流になってゆったりと水が流れ、カナダモが茂り、ドブガイ、イシガイ、タナゴが繁殖する貴重な川です。

連日の日照りで水量は少ないけれど、水は澄んで赤いセビレを輝かせて泳ぐタナゴ、砂の上を動くカマツカ、銀白色の腹部をきらきらさせて泳いでいくモロコなどが見えるのです。

ワクワクして、何箇所かにモンドリをかけたのですが、獲れるのは、ブルーギルとブラックバスばかり。中には、お腹がぷっくり膨れて食事後のブラックバスも。水門の前の浅いタマリには、ブルーギルがいっぱい。川に入ってじっと見ると、いるわ、いるわ。ブラックバスが群れて泳いでいるのです。本流に入ってヌマチチブをねらっていた時も、目の前を泳ぐのは、ブラックバス。草むらを踏んでとれるのは、ブルーギル。

以前は、見えるほどの数ではなかったのに・・・。確実にこの外来魚は増えています。一度、「外来種魚とり」をしませんか。（福井波恵）

稲刈りの準備進む

日中はともかく朝夕がめっきり過ごしやすくなり事務所近くの田んぼの稲穂も少しづつ色づき始めました。私たちの田んぼでは稲穂が垂れ収穫の適齢期を迎えています。今年は少し株の張りが弱い感じですが。大村さんと森島さんが24日の稲刈りのため畔の草を刈り取りました。そして今年の新趣向の樽神輿の台と本体の組み立てを行いました。鈴や飾り花五穀による台座壁の飾りなどの仮組みをしました。

当日には紅白の布や紙鎖などで飾り付けを皆さんで行います。楽しい稲刈り作業としたいと準備に熱が入っています。多くの方々のご参加をお待ちしています。新米希望枠が残り3袋です。至急ご連絡ください。25日夕方には宅配予定です。

同志社大学生の炭焼き作業から

17日南五晴さんの指導で竹を窯に詰め込み着火をしました。順調に煙が上がり仕上がりは24日に予定しています。製造された竹炭を茶畑に散布できるように粉碎作業を行います。

木津川の植生管理地から 23日に河川レンジャーの皆さんが木津川を現地視察されるので古くなっていた明示ロープと管理看板の取替え作業を実施しました。またサークルのうち生態調査のために一部を残して刈り取りも実施しました。この刈り草の運び出しを21日午後から行います。

11月20日は全管理地の刈り取りを予定していますのでご協力お願いします。

柿山とハイキングルートの草刈整備を森島さん山村が行いました。22日には柿畑の防疫薬散布を実施します。早朝から9時過ぎには完了予定です。ご参加いただける方ご連絡ください。

多様性植生調査

今週の調査日 23, 26, 28日

10時に事務所にお越しください

みんなで作る会誌21号

会誌21号原稿締め切り

多くの皆さんから原稿をお寄せいただきました。順次パソコンに打込み昨日一部を残して終了しました。次の工程は校正作業で、これは事務所で打ちあがった原稿を見て誤字脱字などを見つけます。机上での

作業ですのでどなたもお願いできます。時間はそれぞれの都合のよい時間にお越しくださいませ。適当な時間に終了ください。1人でも多くの方々の手で作り上げたいと想っています。

午前9時には事務所を開けています。気楽にお越しください。

木津川の魚たち その2

こんな溝にメダカが、ドジョウ、タウナギも！！

山城町の学童で子ども達と魚とりを楽しんでいます。きっかけは、ふっと覗いた校庭のそばを流れるコンクリート三面側溝の溝に見つけたメダカです。上にある田んぼの水が入ってくるのでクロメダカが繁殖しているのです。

どんなに小さくても生き物がいる川は、私をおいでおいでと誘います。

そして、いつもの如く子どもと一緒に覗いていると、「あっ、ドジョウがいる！」

大きなドジョウが1匹。「先生、とって。」の声に押されて、靴を脱いで素手でそっと救うと見事ゲット。近くに落ちていたペットボトルに入れていると、「私もドジョウとりたい。」と一年生のみずきちゃんが入ってきました。熱心に探していましたが「ドジョウがいた。」「つかんだけどとれないよー。手がふるえるー、ふるえるー。」と初めてのドジョウつかみで大興奮。バトンタッチして私がかみ、みずきちゃんの手に乗せてやると10cmほどの大物。「わー、ドジョウ、初めてつかんだー。」と大喜び。

その後、タウナギも見つかり、男の子もみんな溝に入りタウナギつかみです。10匹ほどつかみ、どろどろに汚れてしまいました。教室に帰ってから、ドジョウとタウナギの観察。生き物の話をすると、こどもたちは目をきらきらして聞き、その後は図鑑に頭を集めて調べ学習。やっぱり子どもと魚は楽しい！！

20日の事務局会議から 今秋冬に里山再生作業に取り掛かるということを確認しました。放置された「里道の復旧作業実施」から取り組みます。まず通路の確保のために“先導道開削の初日として12月15日”を予定します。年内には先導道を通行できるよう完成させる予定をしています。約1週間の連続作業です。

31人で稲刈りを楽しむ

昨年の二倍の参加者を向かえ賑やかに作業が進み、あっという間に刈り取りました。前日に脱穀しておいた新米の炊き立てのおにぎりが出て、皆さん美味しい美味しいの連発、子どもも大人もおかずなどそのけで大きなおにぎりをほおばりました。丹波の黒豆で作った私達が手作り味噌を使った味噌汁を3倍もお代わりしてくれる子ども現れました。

稲刈りに初挑戦で稲をつかむのが初めての方にはかがんでの作業が苦手ようでした。イネを束ねるのは全員初挑戦で大苦戦をされました。しかし目いっぱい抱え込んで稲運びをしました。はさ掛けでは前後に稲束を分割のときのひねり（コツ）にうなずきながら架けていました。そして全員で落穂ひろいをして作業終了。来年の田圃整備のため日陰の原因の竹藪の竹の切り出しを35分間実施、切り倒された1.5mほどの竹を処分、その間に脱穀したもみを乾燥機に投入して稲刈り作業は完了。いよいよ豊作を祝って手作りの子ども神輿の練り歩きです。紅白のたすきをキリリと締め、リーダーの笛と団扇の先導でワッショイワッショイと初顔合わせなのに息も合って豊作に感謝しながら田圃を一周、楽しい日曜日になりました。



新米30kg(玄米)10袋分注文余裕あります
至急ご注文ください 0774-64-4183 まで

国土交通省淀川河川事務所

絶滅危惧植物の保全作業から撤退か？

9月16日木津川出張所から本年度は木津川の諸育成維持保全作業の契約を結ばないとの連絡が入りました。これは木津川堤に生育する絶滅危惧植物の保

全を目的とした作業の契約でした。この作業の契約をしないと言うことは、これまで続けてきた絶滅危惧植物の保全から手を引くことを意味するのではないのでしょうか。26日に木津川出張所高木所長に面会すると、具体的な保全対策は全く説明は無く、発注はしないことの繰り返しだけでした。

里山の会の調査範囲の草刈り制限地への草刈りリストップなどは協力するが、草刈り制限時期解除となっても草刈りはできない状況が予想されるとのこと。

同志社大学生竹炭作り作業から

10月1日 午前10時から12時まで

窯だし作業と竹炭の粉碎作業

17日に着火しましたが予定日を過ぎても燃焼を続けていたので、窯だし作業は10月1日となりました。

都合のつく方午前中の作業となる予定ですので多くの皆様のご協力をお願いいたします。

里山の会からは森島 大村 黒光 山村が出席

京田辺市民文化祭

出展内容決まる

- 1 山 ハイキングコースのビデオ上映
鹿の剥製展示と獣害問題
稲狩りと神輿展示
- 2 川 木津川の絶滅危惧種標本展示
木津川の植物調査中間発表
木津川の魚たち 水槽展示
- 3 販売 柿 味噌 釣る籠 木竹酢液
- 4 子供向けお楽しみコーナー
松ぼっくりツリー工作
ストーンアート

会誌21号表紙写真

稲刈りでの神輿担ぎに決まる



会誌 21 号編集活動

最終段階 連日大奮闘

製本作業日 10月18日に向かって大奮闘が始まる。

ざっと 150 ページ分の原稿が集まりました。順次活字の打込が進み校正作業もたけなわ、第 1 次分が出来上がる。8 月中旬から寄せていただいた原稿を書式に併せ、読み上げて誤字の発見です。次に目次を決めるための編集、そして空白箇所への写真、ワンポイント、挿絵の挿入と気の抜けない細密な作業を進めています。はじめて会誌の編集の中心になっていただいている皆さんは、忙しい中少しでも都合をつけて事務所に駆けつけ一生懸命になっていただいています。いつものようにパソコンチームの協力もいただきながら、がんばっています。

この一週間はどんな人手でもありがたいと思っています。短時間でも事務所にお越しく下さい。お待ちしております。12日には最終印刷原稿に仕上げます。

城陽市富野小学校から総合学習のお手伝いの依頼

4 年生の総合学習に鳥と魚と植物の班に分かれて学習を計画しているので、植物の班で講師の依頼がありました。早速検討委員会を開催することになりました。秋の木津川の土手で何が見つかるのでしょうか。楽しい秋を見つけましょう。

**新米 30 kg(玄米)10 袋分注文余裕あります
至急ご注文ください 0774 - 64 - 4183 まで**

同志社大学生竹炭作り作業から

10月1日の午前10時から12時までの窯だし作業と竹炭の粉碎作業は、残念ながら雨天のため延期。

この日のために竹炭をどのように粉碎するかが大きな課題でした。自動車で踏みつける、ドンゴロスに入れて足で踏みつける、大きなハンマーや横槌、金槌を使う方法など提案がありました。試行錯誤の後バイブレータの使用に落ち着きました。鉄板の上に竹炭を載せ、小さい鉄板ではさみバイブレータで振動を与えるのがベターと一致、そして粉が飛びださないようにモルタルをこねていた、いわゆるフネを使うことになりました。準備万端といったのですが、雨天ではどうしようもなくなりました。近いう

ちに実施しますので、その節にはご協力くださいね。

木津川の魚たち その3

運動場の溝でクサガメの子ども発見

今回も山城町、上狛学童の子どもの話です。ユージン君は魚とり大好きっ子。溝に入ろうと長靴でやって来て「先生。今日も行くな。」と、ささやきま。バケツを持って「今日は何がとれるかな。」と、溝を覗きこむ私達。

溝には田んぼの土が入り、その上に草がいっぱい生えています。「よし。今日はダムを作って魚を探そう。」と、草を抜いて積み上げていきました。すると、「あっ、カメや。」とユージン君。見れば小さなクサガメを捕まえています。まだ甲羅もやわらかい赤ちゃんガメです。その声に「えー。カメとったんか。ええなあ。」と子ども達が次々集まってきて、カメ探しが始まりました。

学童以外のわんぱく4年生もやってきて大騒ぎ。(カメがいたなんて偶然。いくら探してもいるはずないわ。)とっていると「あっ、カメや。」さっきと同じくらいのクサガメの赤ちゃんが、またとれました。

溝のそばに畑や田んぼがあるので、きっとそこに産卵していたものが孵化して、溝に入り込んだのでしょう。さすが山城町、自然が豊です。

二度あることは三度ある。と更にヒートアップして探した子ども達ですが、三度目の正直と言うことにはならず「あー、カメ欲しい。カメ欲しい。先生カメとってきて。」と言う声を聞きながら外遊びの終了。この後も、しばらくカメ探しが続きました。(カメをさわった後は、しっかり手洗いを！)

事務局会議から

会員さんを増やすことは、本会主旨である「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」として取組を進めてきた。中でも財源確保の上からも主旨の貫徹からも250人会員への到達は悲願としています。活動にこられた初心者一人ぼっちにしておかないで、わだかまりなく活動に参加していただけるように気を配ることが、大事だと話し合いました。

木津川の自然を訪ねる会

今年の夏に任命された木津川レンジャーの山村武正さんが里山の会の応援を得て秋の花を訪ねる会を開催します。参加費は無料です。ぜひ多くの方のご参加をお願いします。

10月22日 日曜日

集合 午前10時00分 近鉄新田辺西口 12時解散

会誌 21号製本作業 応援してください

10月18日 水曜日 午後1時より

京田辺市立中央公民館にて

つるかご作りに使うつる採集

10月19日 木曜日

集合 午前10時 里山の会事務所

山に出かけます。多くの方のご参加をお願いします。

同志社大学生竹炭の窯だしと製粉作業

10月22日 日曜日 午前9時より

京田辺市打田炭焼き窯場

琵琶湖・淀川流域連携交流会結成総会

10月29日 日曜日 午後1時より

京都リサーチパーク JR丹波口下車徒歩5分
流域で活動する皆さんの連携と交流を深める場として設立されます。滋賀、大阪、三重、兵庫、京都の水に関する活動団体が集います。ご参加ください
当日、本会常務理事が議長を務めます。

木津川の植物の標本整理作業をお手伝いください。

これまで1000を超える標本を作ってきました。連日標本を作っています。整理が追い付かず悲鳴を上げています。午前午後どの時間帯でもけっこうです。お手伝いに来てください。お願いします。

富野小学校の自然を学ぶ授業のお手伝いについて

10月19日 木曜日午後1時より前日準備
2時間の作業を予定しています。お手伝いください。連絡お待ちしております。

木津川の魚たち その4

昔はアユモドキがいた！

曾我谷川のアユモドキとジャンボタニシ

亀岡盆地を流れる桂川、その桂川に注ぎ込む曾我谷川には、アユモドキ（ドジョウ科、絶滅危惧種、特別天然記念物）が生息しています。

京都府自然環境保全室の呼びかけで「アユモドキカムバック大作戦」という取組が6月より始まりました。`アユモドキを一度見てみたい`とただその想いで私も参加しています。9月16日はアユモドキの稚魚が育ったかもしれないという田んぼの稲刈りをし、アユモドキを捕獲して計測しました。

ファブリダムを取り除いたので水位も下がり、さあ、いよいよ魚とり。曾我谷川は研究者しか入れませんから、その横の赤川に入ります。三面コンクリート張りの赤川ですが、毎年アユモドキがとれるそうです。一番早く川に入って、石を動かしたとたん、アユモドキの子どもが網に入りました。赤川で取れた、ただ一匹のアユモドキ。嬉しかったですね。（でも、計測のためすぐ取り上げられました。ガックリ！）

タナゴ、ドンコ、ナマズ、コイ、フナ、スジマドジョウ、オイカワなど今年生まれの魚たちがたくさんとれましたが、びっくりしたのがジャンボタニシの多いこと。そこら中ゴロゴロいて、コンクリートの側面は卵で真っ赤です。

アユモドキの産卵のためファブリダムを作り水位を上げていたため、ジャンボタニシにとって絶好の生息地になっているのです。巨椋池干拓地から持ち込まれたのでしょうか。ほんと、複雑な気持ちでした。

このアユモドキは、昔は宇治川、木津川、淀川にもいたのですが、産卵場所とされていた一時的水域（田の水をひくために作った堰で水没したところ）がなくなり今は、曾我谷川だけになったのです。木津川では、アユノオバサン、アユモロコ、ヤナギドジョウ、アユナギなどと呼ばれたそうです。名前のとおりアユとドジョウのハーフのような魚です。木津川水系で見たよと言う人がありましたら、教えてください。

会誌 21 号完成する

16 名の皆さんが製本作業に参加

135 ページ 75 枚を歩きながら一冊にしてゆきます。40 分ほどで 150 冊を突破したところで第 1 回の休憩用意していただいた温かいコーヒーとお菓子を食べて、久しぶりに会った皆さんは楽しく歓談、にぎやかに身近な情報交換会話に花が咲きました。2 時過ぎに第 2 ラウンドの開始、紙を扱うのにもだんだん慣れてきれいに揃えられ腕が上がりました。その分スピードアップで早くも 2 時 30 分過ぎに完全に組みあがりホッチキスによる綴じも同時に出来上がりました。

さすがに 21 回目ともなれば手馴れたものです。片寄せていた机を元の位置に戻して、最後の仕上げの背表紙の貼り付け、これも二人がペアになってたちまちのうちに完成し、3 時 30 分には全員で出来上がった会誌 21 号について感想を述べ合いました。ページ番号のずれていること、見出しの強調、写真印刷の技術向上、個人の努力に頼ってきた従来方式から少しづつ荷を分け合い助け合ってすすめたことは大きな前進であった。などが出されました。事務局からは、まぎわに印刷原稿が出来上がったことなどから、体裁にまで目がとどかなかったこと、そして次号は校正や修正には、今日参加していただいた皆さんにも協力していただけるよう「ゆとり」を持って取り組むようにしたいとのまとめがありました。

また、次号の特別企画として『私のふるさと』と題して会員の方々に原稿をいただくことも発表されました。今からご準備をお願いいたします。

事務局会議から

(1) 11 月 1 日に文化祭の事前展示リハーサルを行います。場所は京田辺「福祉センター」(JA 京都 やましるの西側)で午前 10 時からはじめます。お手伝いにお越しく下さい。

展示内容は 114 号ニュースでお知らせしました。

(2) 淀川河川事務所への絶滅危惧植物の保全方法について質問書を提出することに決定し、趣旨の文章も確認しました。(後日前文を公表します)

つる籠つくりに参加を

10 月 21 日 午前 10 時から京田辺市立中央公民館

(19 日の午前中はつるの採取を行います)。

製品はお持ち帰りいただきます。また、文化祭で廉価でお譲りする作品も作ります。お越しく下さい

木津川の自然を訪ねる会

今年の夏に任命された木津川レンジャーの山村武正が里山の会の応援を得て秋の花を訪ねる会を開催します。参加費は無料です。ぜひ多くの方のご参加をお願いします。

10 月 22 日 日曜日

集合 午前 10 時 00 分 近鉄新田辺西口 12 時解散
案内記事が毎日新聞や京都新聞に掲載予定です。

同志社大学生竹炭の窯だしと粉碎作業

10 月 22 日 日曜日 午前 9 時より

京田辺市打田炭焼き窯場

琵琶湖・淀川流域連携交流会結成総会

10 月 29 日 日曜日 午後 1 時より

京都リサーチパーク JR 丹波口下車徒歩 5 分

流域で活動する皆さんの連携と交流を深める場として設立されます。滋賀、大阪、三重、兵庫、京都の水に関する活動団体が集います。ご参加ください
当日本会常務理事山村が議長を務めます。

木津川の植物の標本整理作業をお手伝いください。

これまで 1000 を超える標本を作ってきました。連日標本を作っています。整理が追い付かず悲鳴を上げています。午前午後どの時間帯でもけっこうです。お手伝いに来てください。お願いします。

河川レンジャー運営会議から

11 日に開かれ本年度の活動が確定しました。10 月 22 日の木津川の花を訪ねる自然観察会、もう一つは山城町北河原にある建物の利用方法を相談する検討会の第 1 回目を 12 月に開催することが決まりました。

つる籠作り

21日 土曜日 午前中に実施

今年の参加者は6名でした。用意した「つる」も丁度適量で、皆さん真剣に作りました。

ボリュームと迫力の作品や繊細な作品など思い思いの出来上がりでした。

木津川の花を訪ねる会

10月22日 日曜日 午前中の実施

毎日新聞の案内記事を切り取ってこられた皆さんが数人おられました。山城大橋に向かって田辺高校の北側から防賀川をわたり木津川堤に上がりました。総勢24名の参加で、ジャコウアゲハとホソオチョウ、カワラナデシコやミヤコグサ、カワラサイコ、コマツヨイグサなどの花に出会えました。樋門による内排水対策などの解説がされ正午に天津神川で解散しました。天気も良く楽しい花を訪ねる会でした。

総合学習の講師に招かれました

富野小学校4年生の総合学習に招かれ、植物関係のお話をしてきました。鳥や魚と植物に分かれて自然を学びました。私たちは植物関係を任されました。学校を出てから木津川堤往復の道すがら観察調査を行いました。オガルカヤ、メガルカヤ、ミズワラビなど絶滅危惧植物が見られ、棕の木の実を秋の実りとして全員が食べました。

皆さん大変熱心に学習され、少し学習態度について心配していましたが、3時間もの長い間集中力も途切れることなく真剣な態度でよくがんばっていました。案内に参加した我々が大変多くのことを教えていただきました。

今年はツリガネニンジンの花が大変多くまた大きくなって薄紫のきれいな花がひととき目立っていました。

会誌21号の発送をしました

郵送料の節約もかねて理事さんによる手配りも分担しました。ごらんになってのご感想をぜひお寄せください。

なお22号は『私のふるさと』と題して会員の皆さんからお寄せいただくことを企画いたしました。友人のこと、祭りのこと、学校のこと、仕事のこと何でも心に残っているふるさとをご紹介ください。

淀川河川事務所管理課長福地氏に 質問書を提出 10月23日

「質問主旨」は以下のとおりです。

原文のまま 『先ごろ国土交通省淀川河川事務所からこれまで行われてきた木津川植生保全管理作業の契約は結ばないとの連絡を受けました。これは2002年に閣議決定された新・生物多様性国家戦略の観点から見て大変危惧する内容です。なぜなら、木津川堤に生育する15種の絶滅危惧植物にとっては、生育する条件が破壊される恐れがあるからです。

つきましてはこの保全対策をどのように進められるのか、早急に文章にてご返答ください。』

として、以下に『質問理由』を添付いたしました。

次号で質問理由をお知らせいたします。

京田辺市市民文化祭第3回実行委員会から

11月4・5日 お手伝いの応援をしてください
販売を中心に行う模擬店では里山の会のテントは通路の北方で比較的奥の方になりました。柿や味噌などの販売を行います。また子どもたちに松ぼっくりを使った、松ぼっくりツリーを作ってもらいます。活動発表の展示では展示コーナーのほぼ中央付近のブースと決まりました。

また、要員当番ではシャトルバスの係りが要請されました。販売や展示説明、クラフト指導と人手が大変多く必要になっています。会員のみなさんのご協力をお願いいたします。

10月29日、日曜日午後1時より

京都リサーチパーク バズホール（JR丹波口下車）
琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、設立総会と記念フォーラムが開催されます。

琵琶湖・淀川で活動されている人たちが『楽しく・美しく・自ら・気軽に』をキーワードに活動の連携や課題解決が出来るような活動を目指して設立されるものです。三重、滋賀、京都、大阪、兵庫にまたがる巨大な組織です。当日は川勝平太先生による記念講演が行われます。ぜひ多くのご参加をお待ちしています。本会常務理事の山村武正が発起人の1人として、係わってきました。また、会員（会費は無料）も募集中です。ふるってご加入ください。

京田辺市民文化祭準備着々と進む

当日の説明係りや販売係りの応援をお願いします。

「山・川」というスローガンで木津川の植物調査の中間報告、絶滅危惧植物の実物大の標本と水槽2台を使って木津川の魚たちの実物展示そして獣害から里山を守るとして鹿の剥製と鹿による植物被害の標本を展示します。続いて「野」として稲刈り作業のうち少年による稲運びと豊作を祝う神輿担ぎの写真とそのとき使用したみこしの展示、そして野原の様子を再現します。

屋外では、黒豆味噌や、つる籠、竹木酢液、堆肥鹿背山の柿などの成果物の販売、そして松ボックリを使ったツリー作り、木津川の石に絵を描くストーンアートなどの取組を行います。それぞれスタッフが目一杯取組んでいます。出来るだけ多くの皆さんの応援をお待ちしています。10時～15時までの間ご都合のつく時間帯で少しでもお手伝いをお願いします。

事務局会議から

「木津川源流を訪ねる」を取り組むことにしました。12月5日または6日の予定です。ガイドは木津川源流研究所の川上聡さんをお願いすることにしました。5年ぶりに訪ねます。どのような変化があるのでしょうか、楽しみです。

柿山に親しむ会

今年は私たちの柿山は昨年の大豊作の裏作が大不作となっています。皆さんのお越しをお待ちしています。青木さんにご無理をお願いをして対応しようと受け入れ準備を進めていますので、安心お越しください。お待ちしております。

秋のハイキング京田辺の最高峰を登ろう 7・5km

コースを開設して以来2年目を迎えています。たくさんの方をお迎えしました。今春有線テレビ局の取材を受けてコースが大々的に放送されました。また、近鉄三山木駅改札正面に案内看板の設置の協力もいただきました。徐々にですが、協力の輪が広がってきています。紅葉の秋を迎えもみじも美しく色づき、迎えてくれるでしょう。多くの方々のご参加をお待ちしております。

琵琶湖・淀川流域圏交流会が設立される

10月20日140人参加の元に2府4県に跨る巨大なエリアを持つ民間組織が作られました。琵琶湖・淀川流域で活動する団体の交流を図り連携し水文化の再生を目指す組織です。どなたも誰でも入会資格があります。大いに交流を深め会いましょう。当日は本会常務理事の山村武正氏が議長を勤め、難しい舵取りをして設立に一役買いました。ポスター展示や活動紹介にも参加して本会の活動をお知らせしました。

淀川河川事務所管理課長福地氏に 質問書を提出 10月23日

【質問理由】

(前号の続き)

私たちは1996年に任意団体として発足し、木津町から三川合流地点までの両岸をエリアに活動を続けてきました。2001年には国土交通省淀川河川事務所木津川出張所所長から、任意団体には国土交通省としてはなかなか対等にお付き合いがすずめにくい面があるので、NPOとして法人資格の取得によって、協働関係をしっかり確立してはどうか、との助言をいただきました。種々検討の結果同好サークル的な活動を組織的に整備し、事務所の設置も進み、国交省淀川河川事務所と京都府から事業委託や補助金を得て本会目的の実現に日夜努力し今日にいたっています。

私たちやましる里山の会は、里山の植物・昆虫・鳥・魚の調査観察などを中心に活動してきました。30～40年前の燃料革命以後人々の里山へのかかわりが減少し、手入れもされなくなって、放棄され、その結果どこにでもあった植物が、現在は貴重植物、絶滅危惧植物と指定される状況にいたりました。

しかし、木津川堤防では草刈り作業が定期的に行われ、絶滅危惧植物の生育条件が細々と維持されています。私たちは、国土交通省の草刈りは堤防の安全点検のために実施されていることは承知しています。このような中で、花が咲き、種子が落ちた後に草刈りを実施していただきたいと時期の調整を申し入れ、それが実行されることになりました。

そして私たちの年間を通しての調査結果を元に、その年の管理ゾーンを決定してきました。しかしそのゾーンも草の移動で固定するものではなく、そのゾーンの面積変動、移動も常に発生しています。したがって、開花時期はもちろん芽吹く時期から必ず調査を継続しなければならないのが実態です。そして刈り残されたゾーンで種子が成熟した後、私たちの手で草刈りを実施し、翌年にも生育するようささやかですが手入れを10年間継続してきました。

この努力があって、今日では木津川に生育する植物は684種、絶滅危惧植物15種を確認しています。過日、淀川河川事務所から感謝状をいただいたのは、こうした努力を評価していただいたものと心から嬉しく思っています。

木津川堤での調査や観察は、冬の寒風吹きすさぶ中でも、真夏の酷暑の中でも貴重は植物の保全のために実施しなければならない大変つらい作業ではありますが、私たちはこれからも継続していきたいと思っています。

2006年10月23日

特定非営利活動(NPO)法人

やましる里山の会 理事長 山本雅晃



京田辺市文化祭里山の会展示

4・5日に京田辺市の文化祭に上記のような展示を出展しました。木津川の魚たちや木津川の植生調査、愛宕山周辺の鹿の被害、稲運びにがんばる少年の姿と御輿担ぎの写真とそのときの御輿、そして田んぼのピオトープなどを「山』『野』『川』として発表しました。また屋外ではおなじみの味噌柿、つる籠、竹酢液、木酢液などの成果物販売、そしてプレーイングコーナーでは松笠ツリーづくりや木津川の石に絵を描くストーンアートを行いました。

いずれの取組も人気があり、二日間とも満員の盛況でした。特に松笠ツリーづくりには200人分を用意しましたが、全部売り切れるという予想外の人気でした。ストーンアートも用意した石がなくなって二日目の石を急遽採集に出かけなければなりませんでした。

展示では水槽の魚が人目を引きました。鹿の剥製を目玉にしましたが、少し高めで行人には高すぎたようでした。今回始めて使ったビデオによるハイキングコースの紹介はせいぜい立ち止まる時間が2～3分間ということから30分ものは長いようでした。

延べ34人の皆さんがお手伝いに精を出していただきました。ご苦労様でした。

柿山に親しむ会 参加者大募集

いよいよ迫る **12日**です

今年は青木さんの柿畑を使わせていただきます。大変おいしい柿が鈴なりに実っています。ぜひともご友人と誘いあってお越しください。お待ちしております。午前10時 JR 木津駅または木津振興局前に集合ください。先着で自動車での参加も出来ます。

秋のハイキングにもお越しください

紅葉の季節です。7.5km 3時間半を歩きましょう。

11月19日 午前10時 普賢寺小学校前出発します。

木津川の魚たち その5

古川小学校の四年生と魚とり・・ 魚とりガキ大将に拍手！！

10月18日（水）城陽市古川小学校の総合学習「古川の生き物調べ」に参加しました。私は胴長をはいて完全武装ですが、30人の子ども達は、運動靴に長ズボンで川に入ります。幸いなことに、夏のように暑い日、でもやはり水は冷たい。その上、きれいになったと言っても古川の底は泥っぽく、水はちょっと匂いもして「みんな川に入る？それとも岸から魚をとる？」と聞くと「川に入る！」と元気な声。バシャバシャと入って、早速魚とりを始めました。

魚が隠れていそうな草むらを踏みつけて魚を追い出します。最近の子どもはこの草踏みが苦手なのですが、草を全然気にもせず、魚を求めて動き回ります。

「とれたー。」とコイの子どもをゲットした歓声。「タウナギがにげたー。」と悔しがる声。深みに入ってあっという間にお腹のあたりまでぬれてしまっても平気で魚とりをする姿には、「このチームが一番元気な子ども達がいるので、想定外のことが起きないか心配なんです。」と言う相方先生の話に納得。

でも、想定外のことは何も起こらず、メダカ、カダヤシ、モツゴ、フナ、コイ、オイカワ、タウナギ、アカミミガメ、イシガメ、クサガメをたくさんとって無事終了。カダヤシ、モツゴ、コイの子が多いのにはびっくり。50cm台の鯉が群れをなして泳ぎ、たくさんのカメが日向ぼっこをしているのは古川らしさといえます。

古川もずいぶんきれいになって、メダカ、オイカワ、モツゴなどの魚、オオカナダモ、ヤナギモ、コウガイモなどの水草も復活してきて嬉しくなりました。仕掛けていたモンドリに少なくなっていると言われるイシガメの子どもがたくさん入ったことも、水がきれいになっていることを証明するようです。川がきれいになると、魚も魚とりガキ大将も復活するのです。

(木津川担当 福井波恵)

柿山に親しむ会 29人の参加 大満足の日

私達の柿畑は全部実が落ちました。そこで青木さんにご無理をお願いしご協力をえて親しむ会を行うことができました。電話やメールでの申し込み、加えて琵琶湖・淀川ネットワークを通じての参加もありました。集合地点を10時に出発、鹿背山の柿畑まで徒歩で25分の組が出発、乗り合わせて自家用車の組も出発、小高い山の頂上に着き山本雅晃理事長の挨拶、そして柿畑の説明、環状剥離をした柿の木に甘さ抜群の秘訣があること、そして学研開発の爪がこの地域に打ち込まれるのか、風前の灯になっていることなどの説明がされた。そして年間10日間（専業者では60日）延べ40人の世話がされていること、参加者の皆さんも作業に手を貸していただきたいとの説明と要請がされた。



精一杯手を伸ばして柿をとります



大きな柿をほおぼったり、いっぱい収穫して、弁当を三々五々グループで戴きました。初参加の皆さんは、大満足でした。

地球温暖化防止委員会活動から

19日の京田辺市の産業祭で1年間準備を進めてきた地球温暖化防止を呼びかけるカルタの展示を行います。その最終チェックを行いました。

里山道づくり

市文化祭で里山道の復旧作業ボランティアを呼びかけました。作業を開始するに当たって先導道の確保作業を実施しています。約150mが通れるようになりました。白土採掘の洞窟まで300mあります。ご協力ください 作業は月曜日午前中です。周辺活用の全体のプランを考えましょう。

秋のハイキング

19日（日）午前10時京田辺市立普賢寺小学校前を出発します。近鉄三山木駅9時36分のバスで終点下車。ガイドは大田史さんです。3時間半7.5kmです。弁当持参

木津川マラソン実行委員会

14日第一回の実行委員会があり、2月第3日曜の東京マラソンの影響と見られる応募者の減少が報告されました。月末までの募集期間の延長もといった声もありました。事務局長の話では、これまでにない異常事態とのことでした。スポンサーを持たず、ボランティアによる大会で、財源は全額参加費でまかなっている手作りのマラソン大会です。

せせらぎ祭り 11月25・26日に「木津川の植物と魚」で水槽とポスター展示参加します。

京都府環境フェスティバル 12月9・10日

京都円卓会議で里山の会活動発表 夏の木津川での魚とりと山の現状の取組について報告します。円卓会議は昨年の発表団体が中心になって結成されたサークルです。

木津川の源流を訪ねる会 12月5日

新しいメンバーも加わっていただいたので久しぶりに木津川の源流を訪ねます。今回は木津川源流研究所の川上聡さんにガイドをお願いしました。参加希望者は事務所に連絡を。

事務局会議で 新年の七草積み(正月6日)の取組を琵琶湖・淀川流域圏交流会に参加呼掛けを決定 限定50名で募集

秋のハイキング京田辺の最高峰に登ろう

雨の中12人が元気に踏破



登山口までの農免道路が醍醐味



太田さんの解説で詳しく地域の歴史を知る



藤井さんが備えてくれた金剛杖が威力を発揮
ハイイロシメジが群生

光田先生5年ぶりに出会ったと大感激



銀杏も一杯拾う 里山の会はいつの取組もお土産が一杯い
ただけるから嬉しいとは参加者の感想

天王のバス停に金剛杖の置き場の要望がありました。

11月25・26日は せせらぎ祭り

京田辺市立中部住民センター 午前10時より
里山の会も 木津川の魚と植物を出展
模擬店や農産物の即売でにぎわいます。お越しください。
24日は会場準備と展示準備があります。
お手伝いにお越しください。

大住生協でのフリーマーケットに参加

堆肥完売 今年の堆肥はこれまでとは比較にならない
高品質に出来ました。購入者はもっと多くほしい
と希望されましたが、あいにく品切れになりました。

ミカン農家収穫ボランティア募集

例年は12月1日に実施してきましたが、今年から
第一土曜（2日）に変更しました。時間があれば
南山城一帯から京都市内、大山崎まで見渡せる万灯
呂山へのハイキングも行ってみたいと思っています。
お弁当、水筒、雨具など用意してお越しください。
暖冬のせいで紅葉の時期が相当遅れていますが、良
い見ごろになるのではないかと思います。

木津川の源流を訪ねる会 12月5日（火）

久しぶりに訪れます。今回は源流に近いところで
ヒメサンショウウオを発見しました。小川さんが撮
影に成功しました。今回も生息しているでしょうか。
ガイドを引き受けていただいた川上聡さんは、琵琶
湖淀川流域委員会の委員をされている方で、名張在
住です。上野の遊水地や岩倉峡の案内もしていただ
く予定になっています。また大戸川で流水の浄化装
置を稼働させておられます。楽しい取組になりそう
です。皆様のご参加をお待ちしています。

参加希望者は里山の会事務所まで問い合わせ下さい

ナンキンハゼの実を集めています

文化祭で好評でした松傘ツリーに使用します。京田
辺市の木として指定され、今最も紅葉して実が美し
くはせて白い顔を見せてきました。できるだけ沢山
集めることにしました。身近なところで拾って事務
所まで届けてください。ご協力をお待ちしています。

少し先の話ですが カギロイを見に行きませんか

来年1月5日が旧奈良県大宇陀町のカギロイの
丘で催しが行われます。京田辺を午前3時ごろ出発
する予定をしています。参加希望の方がおられまし
たら、里山の会事務所までご連絡ください。みんな
で乗り合わせていきます。

12月から月曜日に里山道の復旧を始めます

人が入らなくなって里道が荒れ放題になってい
ます。この道の復旧作業を始めます。午前中2時間
の予定です。お越しください。

セセラギ祭りに出店 11月25・26日



木津川に住む魚の展示と絶滅危惧植物の標本、そして
 獣害による被害の原因の解説を發表しました。

事務局会議から

カッパ研究会の宇治川散策と舟下りに参加して
 天瀬ダムから亀石などを見ながら宇治橋まで下り、用
 意された舟とボートで伏見まで河川散策、そして京都
 大学防災研究所で水害体験とお話を聞きました。日ご
 ろはめったに聴くこともない貴重な体験をさせていただ
 いたとのこと。

河川用語関係用語集

河川レンジャー研修会で配布されたものをテキスト
 として、読み合わせ山本理事長からわかりやすく解説
 していただいた。河川一般では一級河川、二級河川、
 準用河川、そして河川構造では右岸・左岸、川表・川
 裏。堤内地・堤外地。高水敷。などといった用語、そ
 して砂洲といった聞きなれない言葉についても学習
 しました。

農業の担い手の講演会では、吉岐の島の農協では
 肉牛の飼育が盛んで農協職員が増員されて、島の重要
 な産業になっている。しかし、パチンコが進出してき
 て、村から60億円もお金を持ち出していること、
 それは牧場などで稼いだお金に匹敵する金額だとい
 った報告があったとのこと。

伐木等従事者特別教育講習会には、大村幸正、山
 村武正の参加を決定。2～3日の二日間の講習会です。

ミカン農家へのボランティアの参加申し込みは
 16人からありました。今年は山不作のまわり年です。
 出来栄えが少し心配です。

第7回通常総会の日程が4月24日に開催するこ
 とが確認されました。したがって第3回理事会は3月
 24日となります。社員理事の皆さんには万障繰り合
 わせて、欠席なきようご準備をお願いいたします。

木津川センター(仮称)検討会に山本理事長の出
 席をお願いすることを決定。里山の会の念願の施設実
 現に向かって、大きく一歩が踏み出されました。

週間ニュースを多くの人にとどけるには少なく
 とも月に一回は出来る範囲から手配りを行おうこと
 を話し合う。どんな活動が行われ、その結果など会の
 動きがよく伝わってくる。皆さんに届けようというこ
 とになりました。

府の活動援助を受けて行っている**生物多様性保
 全推進事業のまとめの会**を**12月13日**水曜日午後1
 時から京田辺市立中央公民館で実施します。村田先生
 や上島先生もご出席いただきます。係わっていただ
 いたすべての皆さんにご出席をお願いいたします。

南京はぜの実が集まりました。 もっと集めよう
 皆さんの身の回りに白くはぜた実が目につけば少し
 手を伸ばして取って下さい。市の緑化協会にうかが
 いますと、多少太い枝の根元から切り取っても良いそ
 うです。事務局では想像を超えるほどたくさん集めよ
 うと協力をお願いしています。

会誌22号の特集は『私のふるさと』として原稿
 をお願いすることになっています。遠くに近くに故里
 をお持ちです。そこでの体験、経験、人との出会い、
 出来事など一寸立ち止まると一杯湧き出てくると思
 います。すべての会員さんからのご寄稿をお願いいた
 します。

結成10周年の記念講演会や祝賀会(昨年11月
 26日)を開いてから**早くも1年が経過** やましろ里
 山の会の軽自動車の購入からまもなく1年(12月15
 日)を迎えます。

この週間ニュースの発行が123号となりました
 事務局が出来て以来使ってきた私のパソコンのキー
 のAとOの文字が薄くなって消えています。よく働い
 てくれたものです。表示板の『付け根』が損傷し、そ
 のうえ「CD」の書き込みも呼び出し機能が働かなく
 なりました。大変不自由をしています。パソコンの『X
 デー』が予測されますので、USBを使ってすべて取
 り出し里山のコンピューターでCDに移し変えました。
 何と40枚になってしまいました。

もう一つパソコンのお話 25日に河川レン
 ジャーの研修会で活動報告が宿題にされ、時間が迫っ
 てきたので、至急原稿を送れとのこと、メールが早い
 からと催促があった。太田さんにパワーポイントのご指
 導を受けて、にわか仕込みで、何とか作成した。当日
 11名全員がパワーポイントを使っての発表だった。私
 だけがもう少しで資料だけの報告になりそうでした。
 新しい取組の成功で本当に良かった。ほっとしました。

伐木等従事者特別教育講習会

2日と3日とも午前9時から午後5時30分までの講義と実習が実行されました。西京区や左京区、北区、宇治市、加茂町などから17名の参加があり、毎時間5分程度の休憩を挟んで真剣な講義が続きました。伐木作業の危険性とその予防、伐木作業の手順解説、チェンソーの整備などを学びました。

伐木では、山側または斜面に水平に倒すこと、倒す側に受け口を付け、ついで追い口切り、つるの機能を使うこと、退避場所コースの確保、倒す方向の確認、倒木時の周知に呼子(笛)などを使って徹底を図るなどが強調されました。これまでの伐木作業は、力任せで安全を軽く見てきたことに気づきました。

ミカン農家へのボランティア

参加者は総勢22名の方々でした。今年は柿も管理地では、絶滅に近い状況でした。ミカンも例年に比べて不作で、作業時間は2時間で完全に収穫が完了しました。今年の順番は山不作でした。しかし皆さんは、振舞っていただいたげんざいに舌鼓みを打ち、心もおなかも温まりました。そして取り立てのミカンをお土産にいただきました。時間がありませんでしたので、山城地域を一望できる万灯呂山へ三々五々車で出かけました。頂上からは京都市、乙訓、八幡生駒、奈良、そして比叡山、愛宕山、ポンポン山、天王山、男山、甘南備山、生駒山、金剛山が遠望できます。足元には歴史の川といわれる木津川、人口増加を続ける京田辺市精華町、木津町が一望できる景観に感嘆の声を上げておられました。

生物多様性保全推進事業のまとめの会

12月13 京田辺市中央公民館

これまでに標本にしたものが1207品で京都大学や花明山植物園に寄贈したのも多数ありますので1300品以上は採取できました。当初684種としていましたが、それ以外の新種も多数発見されています。生態系のすばらしさが改めて証明されました。こうした点を整理し、今年度のまとめを行います。同時に来年度の植物調査計画を検討します。

係わってくださった皆さん、これから加わってみようと思われる皆さんのご参加をお待ちしています。13日午後1時より

木津川の源流を訪ねる会

5日には週間ニュース122号でもご案内いたしました。三重県名張市の川

上聡さんにガイドをお願いして、大戸川の水質浄化実験施設の現地説明、岩倉峽の素晴らしい景観と上野遊水地の現状、そして上野市では公営浄化施設が建設されていない問題点、近畿では唯一現存している藩校の崇廣堂の見学、忍者の棟梁の家、古代の大山田湖の大山田村、木津川源流、川上ダム建設予定地、オオサンショウウオの集中生息地、名張市内の流水利用水路、など多くの見学と解説をいただきました。全員納得の飛び切り充実したひと時でした。



オオサンショウウオの保全施設 木津川の源流地

財団法人『京都産業21』より3名来所

都府の商工関係の外郭団体の京都産業21から里山の会の活動に大変興味を持って来所されました。都市住民は安全安心の食物に関心を持っている、実際に耕作したり栽培するチャンスがあれば希望することでした。これまでは農業関係との付き合いでしたが、全く関係のなかった商工関係の皆さんとの連携が始まるよい機会でした。山本理事長、山村武正が対応しました。

木津川植生管理地について草刈と処分参加募集

今年度の木津川植生維持管理作業について契約はしないとの淀川河川事務所の姿勢でしたが、過日管理課長に実績報告書を届けますと、草刈の労務費は支出できないが、実費経費について検討の余地があるといったことでした。また、指導者の講師料に付いても資料の提出を求めてきました。

この経過の如何に係わらず管理地の自主的な草刈を11日12日の午前中に実施します。午前9時事務所集合です。お手伝いをお願いいたします。25箇所です。来週に苧草の運搬処分作業を行います。協力ください。

京都環境フェスティバル2006

9日 1時 里山の会活動発表

10日 13時 地球温暖化対策の活動発表

エコネット近畿設立記念講演

10日 14時 奈良 かしはら万葉ホール
講演 C.Wニコル氏

申し込み制 ファックス 06-6881-1133

木津川植生管理地 草刈作業進む

11日午前9時30分6人が集合2台の車に分乗して出発。最下流の八幡市から作業をはじめました。草刈払い機4台を運転 以前に刈り取っていたところを含め全体をきれいに刈り払いました。出来上がりを見つめますと割合スカッとした気分になり、やりがいを感じます。午前中に京田辺市の神屋樋門のところまで進みました。この日はかねてお願いしていた井上さんが初参加、車を運転していただきました。

京都府環境フェスティバル

昨年に引き続き活動発表を行いました。パワーポイントで、山本理事長が解説を行いました。要領よくテンポのあるわかりやすいお話でした。里山の会から6名が出席しました。広い会場いっぱいには展示発表、活動紹介やクラフトなどさまざまな環境に関するイベントが2日間にわたって披露されました。

里山忘年会

22名の参加で盛大に行われ、06年の活動を慰労しました。皆さんの持ち歌が発表され、思わぬ一面を垣間見ることができました。2時間ほどでしたがこれまでにない盛り上がりがありました。

生物多様性事業の06年のまとめの会が開かれました。

光田重幸先生、村田源先生、上島裕先生も出席され、適切なご指摘や助言をいただきました。

11月末で植物採集に334人のご協力があったこと、標本1205点が里山の会の成果物で、未採集植物が334点(684点中)そして京都大学寄贈291点、花明山植物園に数百点を寄贈できたこと。そのための標本乾燥作業、用紙に貼り付け作業、その他多くの目立たないが重要な作業を積み上げられたと総括があり、村田先生からは、291点にも及ぶ標本が京都大学に送られ永久保存されること、そして標本のできばえが素晴らしいと高い評価がありました。光田先生からは太古の原生が残されているのは川にある。木津川に見られるように絶滅危惧植物が生育しているのは何よりその証拠、その部分を調査し、保存をしようとする里山の会の皆さんは本当に大切な仕事をされている。この原生を子供たちに伝えられる貴重な体験を持っておられるとこれも高い評価がありました。先生方から活動の意義が強調され、自分たちの活動に自信を深めることができました。

年末年始の日程

- 25日 冬の昆虫観察会 オオムラサキ幼虫調査
- 27日 最終事務局会議 午後事務所清掃
- 28日 パソコン教室
- 29日 尾根筋ハイク・コースの清掃作業
- 4日 初出勤 事務局会議 午後七草摘み事前準備
午後竹の椀づくり
- 5日 午前3時集合 大宇陀カギロイの集い出発
- 6日 七草摘み七草かゆ
- 9日 新年あいさつ回り
夜木津川マラソン実行委員会
- 10日 木津川センター第二回検討会議

木津川マラソン・史上3位の参加申し込み

東京マラソンの影響がフルに見られました。ハーフ200人増、中学生が倍増の申し込みがあり、フルの減少分を十分カバーできました。

駐車場の整備作業を年内に実施します。ご協力お願いします。問い合わせは事務局まで

冬の昆虫観察会参加者募集

里山の会が炭焼き体験の中でオオムラサキの飛翔が見られるとのニュースを耳にして以来、確実に確認できる冬の幼虫の調査を行ってきました。今年も25日実行します。エノキの落ち葉を捜してみませんか。ご参加をお待ちしています。

「炭焼き体験」・「黒豆味噌づくり」の参加者募集

黒豆味噌づくりの参加申し込みは12名となっています。文化祭では大人気でした。参加枠はもう少しとなっています。至急申し込んでください。

炭焼き体験は、初日に原木を切り出します。日常生活の中ではめったに体験できない大木の切り倒しから作業をします。なかなか迫力ある作業です。子供たちに一度は体験させてやりたい場面です。二日目は炭窯への詰め込みや木炭の商品化作業です。

カギロイを見る会に参加しませんか

大宇陀町で恒例の集いが行われています。今年はちょうど1月5日の早朝ですので新田辺駅午前3時出発で計画しました。詳細は事務局に問い合わせください

ひむがしの野に かぎろいの立つ見えて
かえりみすれば 月かたぶきぬ

柿本人麻呂

木津川植生管理地 草刈作業完了

11日に引き続き16日には上流部の草刈と刈り草の運び出しを行いました。よい天気です。この日は7名の参加がありました。下流部に比べて植物は背丈が低く、刈り取りやすく仕事が楽に進みます。それでも箇所が多く手間がかかります。皆さん機械の扱いが格段に上達され以前に比べると後の景色がスカッとしています。また刈り取った草が整然と並んでいます。ずいぶん腕前があがりました。

18・19・20日の3日間の連続作業で運び出しとロープと杭による明示も出来上がりました。ご協力いただいた皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。木津川マラソンの駐車場や本部会場予定地の草刈り作業も完了しました。

仮称木津川センター活用検討会開かれる

自己紹介を兼ねて出席団体の活動内容を発表し、それぞれが出席者団体の理解を深めました。その後、視察した建物をイメージして、活用方法について意見を述べました。資料展示保管庫や会議場、交流会場、活動拠点などへの希望が出されました。次回は1月10日に検討会を開催することを約束して散会しました。淀川河川事務所から占用管理課係長、木津川出張所長、河川レンジャーマネージャーなど含めて出席者は13名でした。

新入会員を迎えました。

事務局としてご活躍していただいている大村幸正さんのお知り合いで、石田正士さんがご入会されました。石田さんはバス会社に勤務され、路線バスや観光バスの運転経歴をお持ちで、パソコンにも関心を持たれていて事務管理作業分野、そして草刈り作業などにも積極的にご協力を戴いております。このたび草刈り作業にご協力いただく中で里山の会の気楽さに自信を得て昨日(20日)午前9時15分に事務所に来られて早速パソコンでご挨拶の文章を作成され、事務所に張り出されました。一日も早く仲間の一員として顔を知ってほしいとおしゃっています。皆様よろしくお願いたします。

年末年始の日程

- 24日 冬の昆虫観察会 オオムラサキ幼虫調査
先週号で25日になっていましたが間違いでした。
- 27日 最終事務局会議 午後事務所清掃
- 28日 パソコン教室 年賀状作成お手伝いします
- 29日 尾根筋ハイク・コースの清掃作業
集合 午前9時30分 普賢寺小学校前

- 4日 初出勤 事務局会議 午後七草摘み事前準備
午後 竹の椀づくりなど事前準備
- 5日 午前3時集合 大宇陀カギロイの集い出発
- 6日 七草摘み七草がゆ
- 9日 新年あいさつ回り
夜木津川マラソン実行委員会
- 10日 木津川センター第二回検討会議
黒豆事前配布

木津川マラソン・史上2位の規模に 4583人

東京マラソンの影響がフルに見られましたがハーフ200人増、中学生が倍増の申し込みがあり、フルの減少分を十分カバーできました。駐車場の整備作業を年内に実施します。ご協力をお願いします。問い合わせは事務局まで

冬の昆虫観察会参加者募集

私達の10年に及ぶ調査から南山城地方で唯一オオムラサキの飛翔が見られ確実に生息していることが確認されています。夏は飛翔中の確認で難しいものですが、冬にはエノキの落ち葉で越冬している幼虫を確認しますので容易に見つけられます。夏には成虫を確認できませんでしたので、皆さんでしっかり調査しましょう。ご参加をお待ちしています。

「黒豆味噌づくり」の参加者募集 夜久野町で作る

参加申し込みは13名となっています。文化祭では大人気でした。参加枠に少し余裕があります。27日締め切ります。至急申し込んでください。

「炭焼き体験」

炭焼き体験は、初日に原木を切り出します。日常生活の中ではめったに体験できない大木の切り倒しから作業をします。なかなかの迫力があります。子どもたちに一度は体験させてやりたい場面です。二日目は炭窯への詰め込みと着火そして木炭の商品化作業です。

カギロヒを撮る会に参加しませんか

大宇陀町で恒例の集いが行われています。今年はちょうど1月5日の早朝ですので新田辺駅午前3時出発で計画しました。詳細は事務局に問い合わせください。カギロイの丘では4時から見る集いが始まります。千人以上の方が集まってこられます。学者の解説や万葉衣装をまとった美女も出迎えてくれます。

ひむがしの野に かぎろひの立つ見えて
かえりみすれば 月かたぶきぬ

柿本人麻呂

冬の昆虫観察会 12月24日実施

オオムラサキ幼虫6匹ゴマダラチョウ幼虫3匹を確認

冬の調査でこれまで9匹が最高でしたが、今年は2位の6匹確認できました。NO1,NO2,NO3,NO4,NO5では見つけることができませんでした。いずれもエノキの落ち葉が少なく昨年の古いものが水を含んで越冬には見た目にも不向きなようです。しかし、何とかして幼虫を見つけようと全員懸命に落ち葉を点検しました。半分のエノキを点検しましたが、見つかりませんでした。特に毎年見つけてきた穴場でも姿を見ることができませんでした。とうとうNO6にやってきました。ここはこれまで一度も確認できていないエノキです。今年もダメだろうという気持ちで落葉をめくりました。するとたちまち歓声があがりました。すると向こう側でも隣でも次々にオオムラサキの幼虫発見が続きます。全部で6匹です。加えてゴマダラチョウも3匹見つけることができました。早速広場に持ってきて観察をします。思ったよりも小さい、背中突起が4対あるとか、色ももっときれいと思っていたとかの声が聞こえます。初めての参加者は、出会えてうれしいと撮影に懸命でした。この場所は他に比べて新しいエノキの落葉が多く乾燥して北風の当たらない山すそで、田んぼの畦がきれいに草刈された場所でした。そして、今年の春には休耕田となっていたところが復旧され風通しもよくなり景色も美しくなっていました。山裾と付近がきれいに手入れされるようになったのでオオムラサキが初めて見つかったのではないかと判断しています。



本日の調査結果から京田辺市ではオオムラサキが今年も生育していることが確認されて確実に生育条件や環境が整っていることが実証されました。今後はこの条件や環境を大切にすることが大切だと思われれます。

27日 事務所の大掃除を行いました。

10名の皆さんが駆けつけていただき、外回りを片付ける人、室内を整理する人、蛍光灯を磨く人、植物標本を作る乾燥機などを掃除する人、めいめいに気づいたところから片付けました。見違えるほど綺麗になりました。約2時間で昼食弁当を食べながら、今年を振り返りました。次々と明らかになる裏金問題、閣僚の更迭問題、いじめ問題、好景気なのに暮らしが大変また、社員の山内秀夫さんが定年後3年で一策昨日に永眠されたといったことでした。皆さんはどのような1年でしたでしょうか。

里山06年・10大ニュース 事務局勝手ランキング

- 1 尾根筋ハイキング看板 近鉄三山木駅正面に設置
 - 2 木津川植物 1680点を完成(そのうち京都大学に291点を贈呈)
 - 3 木津川センター実現へ一歩前進
 - 4 ホームページ毎週更新 127週連続
 - 5 稲刈りで秋の収穫祝う子供みこし実現
 - 6 文化祭で松傘ツリー大人気
 - 7 木津川の魚とり 2年連続 100人突破
 - 8 木津川で京都府絶滅危惧要注意種目ニワフジ発見
 - 9 尾根筋ハイキングがテレビ放映される
 - 10 05年度活動参加者 1000人突破
- 次点 年間活動経費 決算で350万円突破
補欠 七草摘み 麻呂と乙女の衣装で行う

仕事始め 正月4日 9時30分 事務局会議
13時00分 七草準備
15時00分 鏡割り
皆様・気軽にお越しください

明29日 ハイキングコースの年末清掃を行います。
9時30分 普賢寺小前集合 12時解散
お手伝いを求めています。 事務所まで

七草摘み お屠蘇で今年の無病息災を祈って若菜を摘みます。

炭焼き体験 原木から切り出します。申し込みください。保険に申し込みのため住所 氏名 電話番号など連絡ください。